

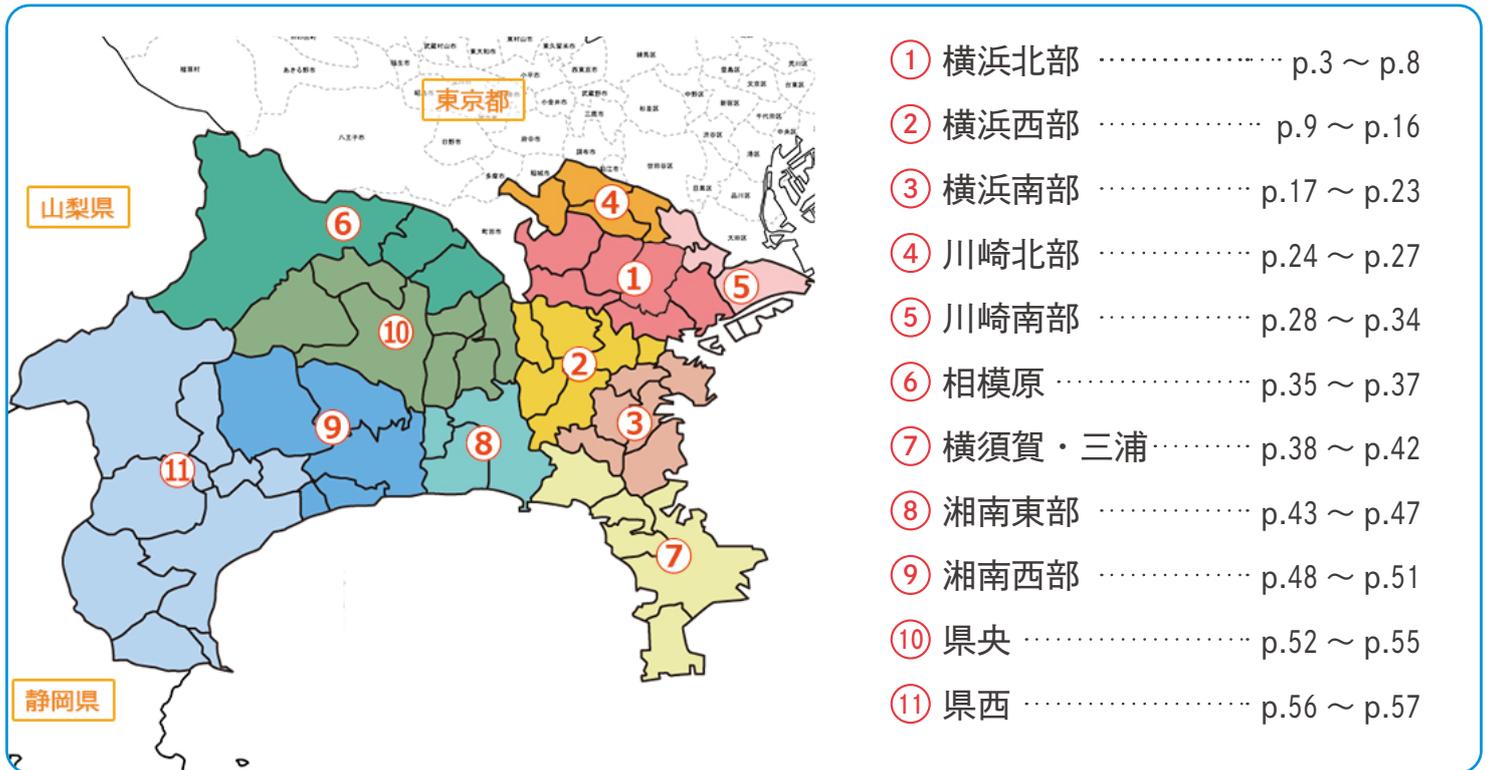
2022年度

神奈川県

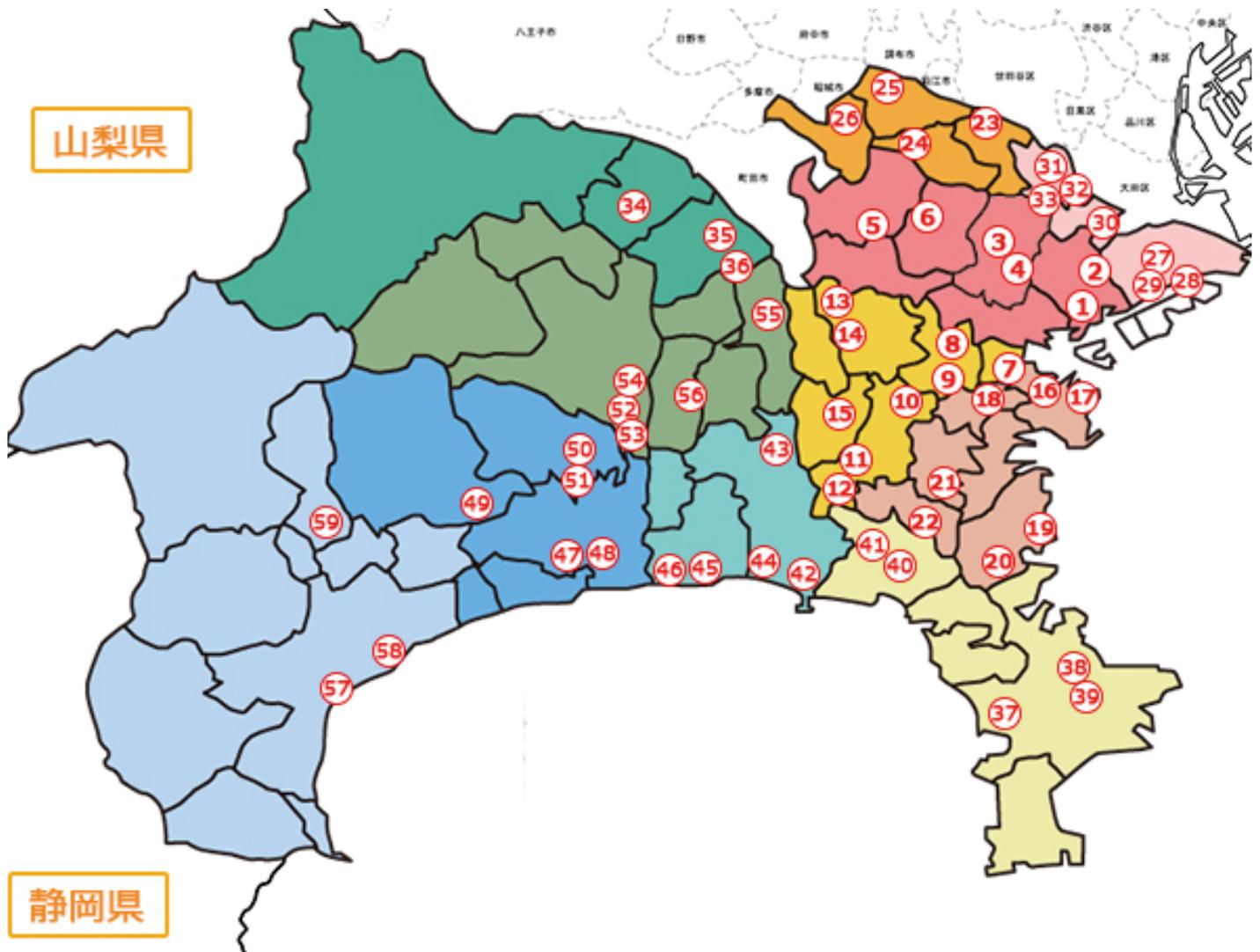
臨床研修病院ガイドブック



◆ 神奈川県 の 初期研修病院 エリアマップ



◆ 神奈川県 の 初期研修病院 59 ※ ①～⑤9 の病院名は次ページにリストで紹介しています。



◆神奈川県初期研修病院59 ※①～⑤9の場所はP.1下マップにて示しています。

【横浜北部】
① 済生会横浜市東部病院
② 汐田総合病院
③ 横浜労災病院
④ 菊名記念病院
⑤ 昭和大学藤が丘病院
⑥ 昭和大学横浜市北部病院
【横浜西部】
⑦ けいゆう病院
⑧ 横浜市立市民病院（資料なし）
⑨ 聖隷横浜病院
⑩ 東戸塚記念病院
⑪ 戸塚共立第1病院
⑫ 国立病院機構 横浜医療センター
⑬ 横浜旭中央総合病院
⑭ 聖マリアンナ医科大学 横浜市西部病院
⑮ 国際親善総合病院
【横浜南部】
⑯ 横浜中央病院
⑰ 横浜市立みなと赤十字病院
⑱ 横浜市立大学附属 市民総合医療センター
⑲ 横浜市立大学附属病院
⑳ 横浜南共済病院
㉑ 済生会横浜市南部病院
㉒ 横浜栄共済病院

【川崎北部】
㉓ 帝京大学医学部附属溝口病院
㉔ 聖マリアンナ医科大学病院
㉕ 川崎市立多摩病院
㉖ 新百合ヶ丘総合病院
【川崎南部】
㉗ 川崎市立川崎病院
㉘ 川崎協同病院
㉙ 日本鋼管病院
㉚ 川崎幸病院
㉛ 日本医科大学武蔵小杉病院
㉜ 関東労災病院
㉝ 川崎市立井田病院
【相模原】
㉞ 相模原協同病院
㉟ 北里大学病院
㊱ 国立病院機構相模原病院
【横須賀・三浦】
㊲ 横須賀市立市民病院
㊳ 横須賀市うわまち病院
㊴ 横須賀共済病院
㊵ 大船中央病院
㊶ 湘南鎌倉総合病院

【湘南東部】
㊷ 藤沢市民病院
㊸ 藤沢湘南台病院
㊹ 湘南藤沢徳洲会病院
㊺ 茅ヶ崎市立病院
㊻ 湘南東部総合病院
【湘南西部】
㊼ 平塚市民病院
㊽ 平塚共済病院
㊾ 秦野赤十字病院（資料なし）
㊿ 東海大学医学部附属病院
① 伊勢原協同病院
【県央】
② 東名厚木病院
③ 湘南厚木病院
④ 厚木市立病院
⑤ 大和市立病院（資料なし）
⑥ 海老名総合病院
【県西】
⑦ 小田原市立病院
⑧ 山近記念総合病院（資料なし）
⑨ 神奈川県立足柄上病院



**研修医の
 主な出身大学**

慶應大学、東京女子医科大学、北里大学、東邦大学、慈恵医科大学、横浜市立大学、東北大学、鹿児島大学、北海道大学、昭和大学、新潟大学、神戸大学、名古屋大学、熊本大学、浜松医科大学、筑波大学、日本医科大学、佐賀大学、琉球大学ほか

応募先

〒230-8765
 神奈川県横浜市鶴見区下末吉 3-6-1

アクセス JR 京急川崎駅または鶴見駅より
 バスで 15 分 / JR 尻手駅より徒歩 18 分

TEL 045-576-3000 **FAX** 045-576-3586
URL <http://www.tobu.saiseikai.or.jp>

医師数

病院全体：257 人

男性：188 人

女性：69 人

指導医数：92 人

研修医数：20 人

-1 年目：10 人

-2 年目：10 人

平均外来患者数	1089 人/日	
平均入院患者数	480 人/日	
病床数：562 床	一般：468 床 精神科：50 床 重症心身障害児(者)施設サルビア：44 床	
専門研修	有	
専攻医数	53 人 (内オリジナル 27)	
基幹プログラム	内科、小児科、精神科、救急科、麻酔科、 外科、総合診療科	
給与	280,000 円(1 年目) 320,000 円(2 年目) 2020 年度参考年収 450 ~ 540 万円	賞与 なし
当直回数	平均 4 ~ 5 回/月 平日夜勤 休日日勤・夜勤 休日遅番(17-22 時)	
諸手当	住宅・通勤(入寮者は除く) 時間外(夜勤・休日日勤夜勤)など	
保育施設の有無	院外(2 km) ※敷地内病児保育室有	

病院の概要・特色

2007 年 3 月に開院した横浜市東部医療圏の地域中核病院(562 床)です。

医療と福祉の連携をめざす済生会理念のもと、社会福祉法人として患者中心の良質な医療の提供をめざす他、医療を通じて何よりも大切な命を守りたいと考えています。診療機能の特徴としては、がん、心疾患、脳卒中等に関する高度で専門的な医療の提供、疾患別センターによる職種を超えたチーム医療の提供を進める他、救命救急(1~3 次)、小児救急、精神科救急、周産期等の医療を担います。

【プログラムの特徴】

救命救急センターおよび ER 型救急医療、小児科救急、精神科救急、周産期 i 医療など充実した救急医療と、がん・心臓血管疾患・脳血管疾患などに対応した高度専門医療、地域医療連携、診療科や職種の枠を超えた新しいチーム医療を展開している。初期研修は、将来いかなる領域を専門とするにしても医師である以上修得しておくべきプライマリ・ケアのできる臨床医の育成を基本目標とし、そのため以下の点を重視している。

- ①救命医療、プライマリ・ケア
- ②チーム医療、地域医療連携
- ③全人的医療
- ④探求心・研究マインド

病院から皆さんへ：研修医の声

- 基本である primary care と救急対応をしっかりと学ぶことができる。
- 救急外来では一次から三次まで幅広い重症度の症例の初期対応に携わり、特に市内有数の重症外傷センターとして、他施設ではできない経験ができる。
- common disease の初期対応能力は救急外来で学ぶことができ、各診療科での研修では専門的な疾患について学べる。
- 手技の機会に多く恵まれ、首都圏の他研修病院と比較しても、豊富な経験ができる。
- 2年目の研修は選択制であり、自分が経験したい診療科をローテーションすることができる。
- 同期研修医は毎年全国から集まっており、研修医を初めとして病院全体が活気に満ちている。
- 上級医の先生方だけでなく、熱意にあふれ経験豊富な他職種スタッフと内容濃い議論もでき、とことん疑問を追求できる環境である。



研修医の主な出身大学

横浜市立大学、北里大学、長崎大学、関西医科大学、弘前大学、大分大学…

応募先

〒230-0001
神奈川県横浜市鶴見区矢向 1-6-20

アクセス JR 南武線尻手(しって)駅 徒歩 7 分

TEL 045-574-1485 **FAX** 045-574-1075

URL <https://www.ushioda-doctor.jp/>

医師数

常勤医師： 43 人

男性： 24 人

女性： 19 人

病院全体： 145 人

指導医数： 11 人

研修医数： 4 人

- 1 年目： 2 人

- 2 年目： 2 人

- 4, 5, 6 年目： 数名

平均外来患者数	464 人/日	
平均入院患者数	274 人/日	
病床数：319 床	一般：158 床 療養：161 床	
専門研修	有	
専攻医数	1 人	
基幹プログラム	総合診療科	
給与	5,070,000 円 (1 年目) 5,355,000 円 (2 年目)	賞与 2 回/年
当直回数	平均 4 回/月 ※見習い期間は早上がりも可	
諸手当	住宅・家族・通勤・当直・時間外	
保育施設の有無	有/院外	

病院の概要・特色

当院は JR 川崎駅から南武線で 1 駅目の「尻手(しって)駅」近くにありま。横浜駅へは電車で約 20 分、東京駅と羽田空港へは約 30 分と交通アクセスは快適です。また、当院は 2001 年に開院した基幹型臨床研修病院で、特色としては Common disease に対する幅広い知識を獲得出来ることにあります。地域の医療機関であるため、日常の診療で頻りに遭遇する疾患に加え、内科系・外科系の救急疾患の初期対応も経験することが出来ます。その中で、症例に基づく勉強のやり方、検査や治療方針、外来・救急における疾患のマネジメントを習得していきます。さらに、医師としての人格の涵養を育むため、協調性、倫理性を持ちチーム医療の中でリーダーシップを果たしていく点を重視し、医師以外にもコメディカルを含め病院全体で研修医を育てる風土の確立に努めています。患者さんの立場に視点を置き、患者さんが求める医療をチームで探求し、医療スタンスを構築することは大切なことです。そして、専門性と総合性を兼ね備え、予防からリハビリテーションまで一貫した医療を実践すると共に、需要が増加している高齢者医療や在宅医療にも力を入れています。横浜市二次救急拠点病院・横浜市脳血管疾患医療機関・神奈川県災害医療協力病院として、市内の救急医療の一端を担っています。更に、特筆すべきは 319 床と小規模ながら**市内トップ 3 の脳卒中専門医と神経内科医が多く在籍**しており、脳卒中関連はもちろんプライマリケア、急性期から在宅診療まで幅広い領域の基礎的知識を学び、経験を積むことが出来ます。横浜での地域医療に関心のある方は是非一度、私たちの医療を体験しに来て下さい。**遠方からのお越しの方で、2 回目以降の実習の際は前泊ホテルをご用意させていただきます。(希望制)**お気軽にご応募ください。お待ちしております。

【研修医ミーティング】

1ヶ月ごとの研修を振り返り、プレゼンテーションします。研修医全員が発表するので、他の研修医が他科でどんな研修をしてきたのかを知ることができ、自分の研修を評価する上でも役立ちます。また、研修環境や研修プログラムなどについても気になった事があれば発言して「**研修医自身が研修をより良くしよう**」とみんなで話し合える場でもあります。研修医と若手医師しかいないのでピリピリしたムードではなく、とても和やかな雰囲気の中で言いたい事を自由に言うことができ、提起された問題について研修医みんなで考えることが出来るランチミーティングの場となっています。

病院から皆さんへ：研修医の声 6年連続フルマッチ中!

◆地域密着型の病院です。地域の患者さんが抱えている問題に多職種連携で取り組む姿を見てください。

また、神経内科研修には外部の病院からも研修医が来ています。ジェネラルな研修はもちろんのこと、大学病院に負けないぐらい珍しい症例を含めたアカデミックな研修が行えるなど魅力たっぷり、良い意味で「穴場」の病院です。また、研修医が少人数という強みとして直接、指導医から教わることで手技はもちろん、任せてもらえる「業務」の幅が広いのもアピールポイントです。(2019 年入職研修医・新潟大学卒)

◆初期研修の間に、common disease を自分でしっかりみる事ができ、基本的な手技はできるようになりたいと考えており、急性期から慢性期まで満遍なく見ることが出来る地域病院を探していました。また、2年間も働く場所なので、自分が過ごしやすい環境かどうかを重視しました。病院見学の時に医局で違う科の先生方が気軽に相談しているのを見たり、明るく自由な雰囲気が自分に合っていると思い、研修先を選びました。実際に働いてみて良かった点は医師やコメディカルとの距離が近く、アットホームな雰囲気で研修する事が出来ていることです。研修医も少人数なので、手厚く指導してもらえ、また、考えながら自分で積極的に診療でき、手技もたくさん経験出来ます。病院全体が研修医の意見も聞ける環境で、自分のやりたいことを実現しやすいです。楽しく研修できるので、勉強の意欲もわいてきて、とても良いサイクルで毎日研修する事が出来ています。(2018 年入職研修医・横浜市立大学卒)



一生の友人と出会える環境で
最高の2年間を過ごしませんか？

**研修医の
主な出身大学**

横浜国立大学、千葉大学、慶應義塾大学、東京大学、日本医科大学、東北大学、山梨大学、群馬大学、順天堂大学、北海道大学、東京慈恵会医科大学、岡山大学、東京女子医科大学、産業医科大学、福島県立医科大学、筑波大学、熊本大学

応募先

〒222-0036
神奈川県横浜市港北区小机町 3211
医師臨床研修センター

アクセス JR 横浜線 新横浜駅 徒歩 10 分

TEL 045-474-8111 **FAX** 045-474-8110

URL <https://yokohamah.johas.go.jp/yokohama-kensyuu/index.html>

医師数

病院全体：276人

男性：189人

女性：87人

指導医数：106人

研修医数：34人

-1年目：18人

-2年目：16人

(たすき4名含む)

平均外来患者数	1,634人/日
平均入院患者数	454人/日
病床数	一般：650床 療養：0床
専門研修	有
専攻医数	18人
基幹プログラム	内科・小児科・整形外科・救急科
給与	27万円(1年目) 30万円(2年目)
賞与	一時金2回/年 132,000円(1年目) 176,000円(2年目)
当直回数	平均4回/月(21,000円/回)
諸手当	通勤手当・住宅手当・扶養手当・ 当直・時間外・休日給
保育施設の有無	有(院内保育)

病院の概要・特色

当院は、横浜市北東部医療圏の地域中核病院として、平成3年に開設された市内でも有数の規模と実績のある病院です。母体は独立行政法人労働者健康安全機構で、全国32の労災病院を有し、当院は其中でもリーディングホスピタルとして、患者さんの立場に立った医療、患者さんの満足度を高め、安心していただける医療を実践しており、急性期の高度医療を提供するとともに、地域医療面では、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、地域周産期母子医療センター、小児救急医療拠点病院、救命救急センター、災害拠点病院、DMAT指定病院の指定を受け、地域中核病院として重要な役割を果たしています。また、ガンマナイフによる治療など高度かつ先進的な医療の提供にも努めており、内視鏡手術支援ロボットや高精度放射線治療装置を導入し、地域中核病院としての役割を一層高めています。

【プログラムの特徴】

当院での初期臨床研修は、開院以来総合ローテート方式をとってきました。2020年度からの制度改革に伴って、内科、外科、小児科、産婦人科、救急科、精神科、地域医療及び一般外来研修が必修となりましたが、今までとかわることなく必修科目以外の期間は必修科目、非必修科目を問わず、全診療科を希望に応じてローテートすることができます。ローテートスケジュールは研修医同士の話し合いで決めているので、どの科をいつ回るか希望が通りやすいシステムになっています。

病院から皆さんへ：指導医から

皆さんが初期研修に求めるものは何でしょうか？ 研修プログラムが自分に合っている病院、自分が進みたいと考えている診療科が強い病院、沢山の症例を経験できる病院、手技を多く経験できる病院、給料が良い病院など様々な要素があると思います。横浜労災病院は横浜市港北区の中核を担う急性期病院です。ここには多種多様な社会的背景を持った様々な重症度の疾患の患者さんが受診されます。ERでは私達研修医がファーストタッチで対応する事になり、私自身もこの1年でも多くの患者さんと出会いました。そこでは綺麗な事だけではなく様々な出来事があり、助けになった人も残念ながらそうで無かった人もいました。しかし、その一人一人の患者さんとの時間がこの一年の私の成長に繋がっていると思いますし、そうでなくてはいけないと思っています。研修医は学生の頃とは異なり医師免許を持つ一人の医者として主体的に患者さんに接しなくてはならず、時には辛い経験をすることもあります。しかし私達は一人ではありません。当院には多くの熱心な指導医の先生方がおり、時に厳しく困難にぶつかった時には手を差し伸べてくれます。また頼りになる先輩や、優秀な同期の研修医のみんながいい刺激を与えてくれます。年齢、性別関係なく多くの背景を持った患者さんに真正面から向かい合い、主体的に診療に参加できる、そんな当院で研修をしてみたいという皆さんの見学を、心からお待ちしております。



研修医の主な出身大学

琉球大学、名古屋市立大学、島根大学、東北大学、新潟大学、熊本大学

応募先

〒222-0011
 神奈川県横浜市港北区菊名 4-4-27

アクセス JR 横浜線・東急東横線
 菊名駅徒歩 4 分

TEL 045-402-7117 **FAX** 045-432-2742
URL URL : <https://kmh.or.jp/index.html>

医師数

病院全体： 58 人

男性： 44 人

女性： 14 人

指導医数： 15 人

研修医数： 6 人

- 1 年目： 3 人

- 2 年目： 3 人

平均外来患者数	341.3 人/日	
平均入院患者数	167.8 人/日	
病床数	一般：218 床 療養：0 床	
専門研修	有	
専攻医数	0 人	
基幹プログラム		
給与	月額 350,000 円(1 年目) 月額 380,000 円(2 年目)	賞与 なし
当直回数	規定なし(本人の希望に応じて決定) 10,000 円/1 回	
諸手当	住宅・家族・通勤・当直・時間外	
保育施設の有無	有/院外	

病院の概要・特色

当院は年間 8,000 台以上の救急車を受け入れている横浜市内でも有数の救急病院です。

横浜市北部地域の基幹病院として ER、循環器センター、内視鏡センターを備え、24 時間体制で患者を受け入れ、緊急手術にも対応しております。

また、平成 28 年 12 月には SCU (ストロークケアユニット) の開設、平成 29 年 12 月には内視鏡センター改築 (2 室→4 室)、リハビリテーション室改築 (面積拡大) を行い、更なる体制の強化を行っております。

【プログラムの特徴】

①救急研修は当番制

当院では救急研修を週 1 回の当番制という方法を取っています。長期にわたり、継続して救急外来を経験することで様々な症例を経験することができます。

②研修医は少人数

当院の研修医受入人数は 3 名です。研修医の人数を少人数にすることで、ひとつひとつの症例を掘り下げて経験することができ、1 人あたりが経験できる症例数を多くしています。

③急性期病院で学ぶ救急医療

当院では毎年救急車搬入件数が 8,000 台以上です。急病と外傷の比率は 7 : 3 程度となっており、その症状は軽症から重症まで様々です。病棟よりも迅速な対応と鑑別診断能力が求められるため、自分で考えて進めていく力が身に付きます。

病院から皆さんへ：研修医の声

当院は 218 床の規模の小さな病院で、年間 8,000 台以上の救急車を受け入れております。循環器内科、消化器救急疾患、脳神経外科、心臓血管外科の重症救急患者にも対応可能であります。また、当院では総合診療科を設けており、守備範囲の広い診療を行っております。初期研修教育では、まず患者の初期診療に携わり、幅広い臨床経験を積んで頂いております。臨床経験を多数積みたいと考える研修医希望者には、規模の小さいアットホームな環境で、濃い中身を持った当院で研修して頂きたいと思っております。

⑤ 昭和大学藤が丘病院



藤が丘病院



昭和大学
臨床研修センター



▲ 休憩や文献検索のできるラウンジ



▲ 皆さんに個人用デスクとロッカー

研修医の主な出身大学

昭和大学、聖マリアンナ医科大学、北里大学、東京女子医科大学、東邦大学、藤田医科大学、日本大学、日本医科大学

応募先

〒142-8555
東京都品川区旗の台 1-5-8
昭和大学医師臨床研修センター臨床研修医募集係

アクセス 東急電鉄田園都市線 藤が丘駅 徒歩 1 分

TEL 03-3784-8299 **FAX** 03-3784-8276

URL <https://www.showa-u.ac.jp/PCTC/>

医師数

病院全体：314人

男性：214人

女性：100人

指導医数：94人

研修医数：47人

-1年目：23人

-2年目：24人

平均外来患者数	936人/日
平均入院患者数	485人/日
病床数	一般：584床
専門研修	有
専攻医数	70人
基幹プログラム	内科、形成外科、眼科
給与	300,000円 宿日直、時間外含む
賞与	なし
当直回数	平均5回/月
諸手当	住宅・当直・時間外ほか
保育施設の有無	なし

病院の概要・特色

当院の特徴としてまず挙げられるのは、大学附属病院としての高度な医療の水準を保ちつつ、急性期医療から希少な疾患、リハビリテーションまで、様々な患者さんを多数診療していることです。

また、臨床研修医教育では開院時からレジデント制を取り入れ、偏りのない研修プログラムを実施してきました。この方式により昭和大学、他大学を卒業した多くの臨床研修医が当院での研修を終え、さらに専門研修に進んだ者は general に強い専門医となり、各方面からの信頼も厚く、当病院幹部をはじめ様々なところで活躍しています。

当院のもう一つの特徴として救急医療に力を入れていることが挙げられます。救命救急センターでは高度な三次救急を行っており、さらに近隣の医療需要に応えると同時に初期臨床研修を充実させ、一次救急・二次救急・三次救急を一体化体制し、救急・初期診療に強い医師を育てる環境となっています。

【プログラムの特徴】

①基本プログラム

基本研修科を十分な期間を充てて研修することにより、しっかりした基礎的臨床能力とGP(General Physician) に求められるプライマリ・ケアの実力を身につけることができます。また、研修医の自主性を尊重し、選択の自由度も配慮しています。

②産婦人科/小児科キャリアパス支援型プログラム

将来産婦人科医または小児科医になることを希望している研修医を対象にしたプログラムです。十分な期間を産婦人科と小児科に充て、将来の専門医を目指した研修が可能です。

病院から皆さんへ：研修医の声

指導医がとても教育熱心で、アットホームな明るい雰囲気です。診療科間の垣根が低く、医師同士はもちろん、多職種間ともコミュニケーション・情報共有がスムーズに行われており、“チーム医療”を実践的に学ぶことができます。

また、研修医向けの教育が伝統的に行われていて、手技を学ぶスキルアップセミナー（内科系のベーシックコース、外科系のアドバンストコース）、様々な講習会、モーニングセミナー（週2回、軽食付き）などが実施され、充実した研修を楽しく行うことができます。やる気にあふれるあなたをお待ちしています!!

⑥ 昭和大学横浜市北部病院



研修医の 主な出身大学

昭和大学、聖マリアンナ医科大学、東京女子医科大学、東邦大学、北里大学、岩手医科大学、金沢医科大学、埼玉医科大学、山口大学、産業医科大学、秋田大学、東海大学、富山大学

応募先

〒142-8777

東京都品川区旗の台 1-9-14 昭和大学教育研修棟 1階
医師臨床研修センター事務室 事務課 臨床研修医係

アクセス

横浜市営地下鉄ブルーライン・グリーンライン
センター南駅徒歩 5分

TEL 03-3784-8299 FAX 03-3784-8276

URL <https://www.showa-u.ac.jp/PCTC/>

医師数

病院全体：277人

男性：211人

女性：66人

指導医数：134人

研修医数：48人

-1年目：24人

-2年目：24人

平均外来患者数	1097人/日
平均入院患者数	563人/日
病床数	一般：597床 精神：92床
専門研修	有
専攻医数	78人
基幹プログラム	内科、外科、小児科、精神科、産婦人科、 麻酔科、放射線科
給与	190,000円 (宿日直、時間外手当は実績に基づき別途支給 詳細は昭和大学) (医師臨床研修センターHPの募集要項をご確認ください)
賞与	なし
当直回数	平均5回/月
諸手当	住宅・当直・時間外ほか
保育施設の有無	なし

病院の概要・特色

本病院は横浜市医療政策の一環として配置された地域中核病院の1つであり、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院に認定されています。内科と外科が1つのチームになって専門診療を行うセンター方式による診療体制をコアとし、緩和ケア病棟や精神科病棟といった特殊病床も併設されています。また助産師を中心とし軽症出産への対応を目的としたマタニティ病棟の設置といった先駆的な取り組みをしており、医療の安全管理を徹底しながら、人間教育にも力を入れ、医療の質とサービスの向上を目指しています。

【プログラムの特徴】

基本プログラム

28週間の選択期間を設けた自由度が高いこのプログラムは、将来進むべき診療科が決まっていない研修医にとっては様々な診療科を回り、将来進むべき道を考える良い機会となります。また、将来進むべき診療科が決まっている研修医には、自身にとって必要と考える研修を自由にプログラムすることが可能です。

産婦人科/小児科プログラム

将来産婦人科あるいは小児科への専攻研修を希望する者のみならず、妊婦や小児と接する機会の多い他の専門診療を希望する者にも幅広く対応できます。

病院から皆さんへ：研修医の声

横浜市北部に立地する当院は、東京や横浜へのアクセスがよく、また港北ニュータウン内にあるため、小児から高齢者まで幅広い年齢層の患者診療に携わることができます。また消化器センターや循環器センターなど、国内外でも有名な医療スタッフを多数抱え、初期研修のみならず専門医研修まで医師としてのキャリア形成に望ましい陣容を誇り、大学病院としての特性から主に急性期病院としての機能を果たしています。また院内で行うモーニングセミナー、CVC講習会などの勉強会や、院外で実施する外科手技スキルアップセミナー等、知識や技能の獲得のための講習会が多数企画されています。

さらに病院長自らが研修の状況や研修医の要望などを聞く「病院長ランチョンミーティング」も適宜実施しており、研修医達は数か月に1度、病院長と直に話をする機会を持つことができます。日々の振り返りを大事にし、研修医達は豊富な症例の中で、日々切磋琢磨し研修に臨んでいます。院内にある研修医寮に居住することで、通勤の煩わしさもなく、研修に、またプライベートに時間を有効に使うことができます。このような研修環境に恵まれた当院で、あなたも私たちと一緒に臨床研修に臨みませんか。

「鉄は熱いうちに打て」です。あなたの「良き医師となる」という熱い思いに期待しています。



平均外来患者数	1,072 人/日	
平均入院患者数	264.5 人/日	
病床数	一般：410 床	
専門研修	有	
専攻医数	20 人	
基幹プログラム	内科	
給与	284,900 円(1 年目) 301,300 円(2 年目)	賞与 2 回/年
当直回数	1 回/週 平均 3 回/月 (1 年目 8,000 円/1 回) (2 年目 11,000 円/1 回)	
諸手当	住宅・家族・通勤・当直・時間外	
保育施設の有無	有/院内保育	

〒220-8521 神奈川県横浜市西区みなとみらい 3-7-3
臨床研修センター

応募先

アクセス みなとみらい線 みなとみらい駅 徒歩 5 分

TEL 045-221-8300 FAX 045-681-9665

URL <http://www.keiyu-hospital.com>

医師数

病院全体：125 人

男性：83 人

女性：42 人

指導医数：31 人

研修医数：10 人

-1 年目：5 人

-2 年目：5 人

研修医の
主な出身大学

北里大学、東海大学、横浜市立大学、
慶應義塾大学、東邦大学、島根大学

【プログラムの特徴】

将来第一線の臨床医あるいは家庭医として適切なプライマリケアを実践する力を付けるために、また専門医を目指す者にとってはその基礎を身につけるために求められる基本的診療に必要な態度・技能・知識を修得し、人格を涵養することを目的とする。

1 年目は内科・外科・救急科を基本研修科目として研修する。救急科は 3 ヶ月のうち 1 ヶ月は横浜市立みなと赤十字病院で研修を行う。2 年目は小児科・産婦人科・精神科・地域医療を必修科として研修し、残りの期間は選択科目を研修する。

選択期間は連携する東邦大学付属病院での研修も可能である。

病院の概要・特色

当院は地域の第一線の急性期病院であり、地域の中核病院、また神奈川県警の職域病院として機能している。病床数 410 床、診療科目 32 科の総合病院で、神奈川県二次救急病院に指定されている。疾患領域は偏ることなく、各科で多岐にわたり症例数は豊富である。急性疾患のプライマリケアから慢性疾患管理にいたる診療を行っている。

病院から皆さんへ：研修医の声

当院における研修の大きな特徴の一つとして、内科ローテーションが挙げられます。1 年目の研修で内科 6 カ月を回る中で、内科の 2 科、もしくは 3 科をセットで回る病院はそう多くはないでしょう。回診やカンファレンスが占める時間も増える半面、主要内科 7 科を満遍なく学ぶことができるシステムとなっております。内科医を目指す方はもちろん、将来どの科に進もうか迷っている方や、内科的診療がしっかりできる外科医を志す方にも適したローテーションなのではないかと思っています。初期研修医が学年に 5 人しかいない分、回る科の手技や上の先生からの指導も独り占めすることができます。救急当直もこの病院の特徴的な制度です。夜間の当直帯では専攻医 1 名、初期研修医 1 名の体制となっているため、ファーストタッチはすべて自分で行き、どの検査や治療を行えば患者を助けることができるか模索しながら一晩を過ごすこととなります。自分にとって身近な先輩である専攻医の先生に教えていただきタッグを組みながら 1 年間を過ごすため、思った以上に仲良くなれます。医学的なことから人生の悩み事について、自分たちの一歩先を行く先生方に気兼ねなくいろいろと聞くことができます。そして何よりも、当院の「温かさ」に僕は魅力を感じます。病棟で私たち以上に患者のそばにいてくださる看護師の方々や処方薬に間違いがないか一つ一つ確認して下さる薬剤師の方々、ほかにも技師さんや事務の方々などを訪れても優しい人ばかりです。1 年目の研修医は正直言って何もできません。それでも私たちのミスに嫌な顔一つせず、質問した際には丁寧に教えていただき、周りの方々に支えられながらやっと医療に携わることができます。そのことに感謝する日々ですが、病院全体がチームとして一人一人の患者を助ける体制を身をもって経験できるのがこの病院だと思います。



▲ 2年間を共にする仲間



▲ 2年目研修医が後輩に採血指導している風景

応募先

〒240-8521
 神奈川県横浜市保土ヶ谷区岩井町 215

アクセス 横須賀線 保土ヶ谷駅 徒歩 10分 (循環バス有)

TEL 045-715-3111 **FAX** 045-715-3387

URL <http://www.seirei.or.jp/yokohama/>

医師数

病院全体： 76人

男性： 55人

女性： 21人

指導医数： 59人

研修医数： 10人

-1年目： 5人

-2年目： 5人

研修医の
 主な出身大学

千葉大学、鳥取大学、浜松医科大学、獨協医科大学、聖マリアンナ医科大学、旭川医科大学、東京医科大学、北里大学、埼玉医科大学、秋田大学、信州大学、熊本大学他

平均外来患者数	573.3人/日	
平均入院患者数	291.4人/日	
病床数	一般：367床	
専門研修	有	
専攻医数	3人/年	
基幹プログラム	内科基幹型	
給与	1年目 35～40万 2年目 45～50万	賞与 なし
当直回数	1回/週 平均：3～4回/月 (8,000～15,000円/1回)	
諸手当	住宅・家族・通勤・日当直・時間外	
保育施設の有無	有/院内	

病院の概要・特色

当院は2003年に国立横浜東病院より経営移譲し、地域の医療ニーズに応えるべく組織強化を続けて今に至ります。

特に救急医療では横浜市の輪番病院として、内科系、外科系、脳神経外科、循環器科、4分野の患者受け入れを行っており、今年度(2022年4月～9月) **2,160台**の救急車を受け入れ、地域を支える基幹病院の役割を果たしています。

また、高齢者医療のさらなる充実化に向け、地域包括ケア病棟にて急性期治療を終えた高齢患者の生活支援、近隣の病院や開業医、高齢者施設との連携も図りながら地域に求められる医療を実践しています。

2019年7月に新外来棟が完成し非常にきれいな環境で研修を行っています。2020年度には、回復期リハビリテーションと緩和ケア病棟がオープンし、300床から367床へ増床しました。

【プログラムの特徴】

- 救急12週、内科32週、産婦人科4週、小児科4週、精神科4週、外科8週(2年目)、地域医療4週(2年目)、選択科32週(うちオリエンテーション10日含む)を2年間の中でローテイトします。
- 産婦人科、小児科、精神科、地域医療については協力病院にて研修を行います。協力病院は、県内の**二次救急指定病院**(横浜医療センター、横浜市立みなと赤十字病院、済生会横浜市南部病院等)と**大学病院**(東海大学医学部附属病院、聖マリアンナ医科大学病院、聖マリアンナ医科大学横浜西部病院)の選択ができます。

病院から皆さんへ：研修医の声

【この病院に来て良かったところ】 研修医1年目と2年目の関係がよいところ。研修として、わからないことがあっても上級医や2年目研修医に相談しやすく、自分で考えて治療方針なども考える機会があって、主体的に研修ができること。

【どんな研修・手技ができるか】 手技に関しては、採血・ルート確保はもちろん、腹腔穿刺・胸腔穿刺・胃瘻増設・内視鏡・イレウス管挿入など、様々な手技を1年目でも実際にやらせてもらえる。

【指導医】 ほとんどの先生が教育的で日々の診療で分からないことがあっても丁寧に指導してもらえる。また、指導医によっては定期的に課題を出してくれる先生もいて、忙しい中でも研修医にしっかり向き合ってくれる指導医が多い。スケジュールが合えば食事にも連れて行ってくれる。

是非一度見学に来てください。見学では一緒に診療科をまわるので、普段の様子を見て雰囲気を感じて、気に入っていただけたら是非一緒に働きましょう!



研修医の 主な出身大学

岐阜大学、山梨大学、岡山大学、群馬大学、
弘前大学、産業医科大学

応募先

〒244-0801
神奈川県横浜市戸塚区品濃町 548-7

アクセス JR 横須賀線東戸塚駅 徒歩 3分

TEL 045-825-2190 **FAX** 045-824-7626

URL <https://www.higashi-totsuka.com/>

医師数

病院全体： 42人

男性： 37人

女性： 5人

指導医数： 10人

研修医数： 6人

-1年目： 3人

-2年目： 3人

平均外来患者数	535人/日	
平均入院患者数	268人/日	
病床数	一般：304床	
専門研修	なし	
専攻医数	0人	
基幹プログラム	なし	
給与	350,000円(1年目) 380,000円(2年目)	賞与 なし
当直回数	1回/週 平均4回/月 (10,000円/1回)	
諸手当	通勤・当直・時間外	
保育施設の有無	有/院内	

病院の概要・特色

【基本理念】全職員に信頼される医療の実践と、地域住民に必要とされる病院

【許可病床数】292床(一般病棟：280床、ハイケアユニット：12床)

【開設】昭和63年10月

【病棟数】7病棟他外来透析室手術室PFM

【診療科】内科・消化器内科・呼吸器内科・アレルギー疾患内科・神経内科・
糖尿病内科・内視鏡内科・人工透析内科・腎臓内科・外科・消化器外科・
内視鏡外科・整形外科・脳神経外科・皮膚科・形成外科・循環器内科・
泌尿器科・麻酔科・救急科・放射線科・リハビリテーション科

【指定】保険医療機関、二次救急医療機関、救急告示医療機関等

【設備・機器】手術室4室、透析17床、内視鏡検査室、ヘリカルCT装置、
X線TV撮影装置、MRI(1.5テスラ)、シネアンギオ装置、
超音波診断装置レッドミル等

【手術実績】下腿足関節周辺の骨折、胸椎、腰椎以下骨折損傷、膝関節周辺の
骨折・脱臼、肩関節周辺の骨折・脱臼：全国1位

【救急実績】月800台以上

【プログラムの特徴】

プログラムの基本的方針

医師国家試験合格後2年間の研修期間では、できるだけ多くの科で修練し、臨床医に求められる基本的な態度、技術および知識を習得すると共に、プライマリーケア全般の初期診療に関する能力を身につけ、病人のもつ悩みや苦しみ、心理的および社会的側面を認識でき得る愛情豊かな医師の育成を行う。

また、臨床の場を通じて生命の尊重を実経験として認識するとともに、医の論理の滋養をはかり、全人的医療を学び、医師としての自覚を形成する。生涯にわたる医師としての研鑽において、その基礎を構築するものである。

研修方針

常に患者さまの目線に立ち、患者さまの声に応えられる医療人を目指す。救急医療とプライマリーケアに対応出来る基本的臨床能力を身につける。

※各個人と相談の上、フレキシブルにスケジュールの調整を行っており、自由度の高いプログラムを行っている。

病院から皆さんへ：研修医の声

研修医になりたての頃はローテーションの仕方も分からず、皆さん将来進む科に迷いながら研修を開始すると思います。毎月変わるローテーション科の中で自分が感じたことや経験したことをもとに将来の方向性を見定めていく上で、当院のプログラムは十分な柔軟性を備えていると思います。

また、東戸塚記念病院は2次救急として年間救急車搬送数が9,000台以上と横浜市でも屈指の数を誇り、研修医の活躍の場が豊富に用意されています。また、診療科毎の垣根も低く、ローテーション中の指導医以外の上級医の意見をいつでも訊けるような指導医の先生方の懐の広さと熱意を感じることが出来ます。

これからの多様化する医師像の中で自らの基盤をつくり、それぞれの進路に向けた将来像を描いてみてはいかがでしょうか。



研修医の主な出身大学

順天堂大学、東京医科大学、シリッポ大学(シリア)

応募先

〒244-0003
神奈川県横浜市戸塚区戸塚町 116

アクセス JR東海道線・横須賀線・湘南新宿ライン、
横浜市営地下鉄 戸塚駅 西口下車徒歩5分

TEL 045-864-2501 **FAX** 045-865-3086

URL <http://www.tk1-hospital.com/>

医師数

病院全体： 24人

男性： 20人

女性： 4人

指導医数： 13人

研修医数： 3人

-1年目： 2人

-2年目： 1人

平均外来患者数	277人/日	
平均入院患者数	126人/日	
病床数	一般：148床	
専門研修	なし	
専攻医数	1人	
基幹プログラム	なし	
給与	360,000円(1年目) 400,000円(2年目)	賞与 なし
当直回数	0回/週 平均0回/月 救急研修は必須	
諸手当	時間外手当(固定残業代)、 当直手当、準夜手当	
保育施設の有無	保育所有(院外) 病児有(院外)	

病院の概要・特色

戸塚共立第1病院は、戸塚共立第2病院、戸塚共立リハビリテーション病院、ヒューマンライフケア横浜(老健施設)訪問看護ステーションや関連クリニックと連携し、急性期からリハビリテーション、在宅までの総合医療を目指しております。

また、救急指定病院として高度な医療、最新の機器を導入し、信頼されるスタッフをそろえ、地域住民の皆様が安心できる医療を提供すべく日々、研さん、努力を重ねております。

【プログラムの特徴】

臨床研修理念

本院の臨床研修は、医師としての人格を涵養するとともに、基本的な診療能力を習得し、全人的医療における自らの役割を明確にすることを目的とする。

少人数制の研修・地域密着型医療

1学年研修医2名までで、一人当たりの症例数が多数。指導医とマンツーマン指導で実践的な経験を積むことが可能。地域密着型医療を掲げ、訪問診療・在宅医療への取り組み、関連の訪問看護ステーションと連携した訪問診療の実施。また、TMGグループ学会・症例検討会にて学術発表が可能。研修スケジュールは、研修医の希望をもとに設定する。

病院から皆さんへ：研修医の声

本院での研修の特徴は、少人数の研修医に制限したプログラムの提供によって、ひとりひとりの研修医がきめ細やかな研修を受けられる環境にあります。大病院では実現し難い個人指導が本院では可能であり、院長をはじめ専門医資格を取得した経験豊富な上級医から直接指導していただける体制が整っていることは素晴らしいです。地域に根ざした病院であり、初期研修中に必ず身につけたいとされる手技を Common disease を経験しながら体得できることも大変貴重でした。研修医数が少ないため、症例の譲り合いや手技の順番待ちをするストレスなどはありません。内科、救急、地域医療などの必修科に加え、外科、麻酔科、整形外科など院内の研修プラス関連施設における小児科、産婦人科、精神科、眼科、耳鼻科などの選択科の診療、研修指導体制も充実しています。研修医自らが患者様の、初診から入院、退院、退院後のご本人やご家族のケアなども含め、統合的に学べます。



研修医の
主な出身大学

旭川医科大学、弘前大学、岩手医科大学、新潟大学、群馬大学、信州大学、筑波大学、帝京大学、聖マリアンナ医科大学、横浜市立大学、浜松医科大学、滋賀医科大学、徳島大学、愛媛大学、大分大学、宮崎大学、鹿児島大学、琉球大学

応募先

〒275-8575
神奈川県横浜市戸塚区原宿 3-60-2

アクセス JR 東海道線戸塚駅 バス約 15 分

TEL 045-851-2621 FAX 045-851-3902

URL <https://yokohama.hosp.go.jp>

医師数

病院全体：183人

男性：121人

女性：62人

指導医数：44人

研修医数：22人

-1年目：12人

-2年目：10人

平均外来患者数	785.3人/日
平均入院患者数	339.8人/日
病床数	一般：470床 精神：40床
専門研修	有
専攻医数	33人
基幹プログラム	内科、外科、救急科、総合診療科
給与（諸手当含）	(1年目)約400,000円 (2年目)約400,000円
賞与	なし
当直回数	1回/週 平均4~5回/月 (20,000円/1回)
諸手当	通勤・当直・時間外
保育施設の有無	有/院内

病院の概要・特色

地域住民に選ばれる病院を目指し、年々診療機能を向上させた結果、横浜市南西部地域中核病院に指定され、地域の高度急性期病院としての地位を確立した。また、(1)地域密着型のドクターカーが稼働し、総合診療領域から集中治療まで幅広くカバーする救命救急センター、(2)NICUを備え産科と小児科の拠点病院として高度な医療を提供する周産期母子医療センター、(3)緊急疾患からリエゾン精神医学まで幅広く学べる精神科病床の3部門を持つ急性期総合病院なので、非常にバランスの良い研修を行える。

さらに、臨床各科の垣根も低く、研修科以外の医師にも気軽に相談でき、何よりも優秀でやる気のある研修医仲間は一生の良き友となるだろう。

【プログラムの特徴】

プログラムは必修科目(内科、救急科、外科、小児科、産婦人科、精神科、地域医療)と選択科目による。実際の研修は約1週間のオリエンテーションに続いて開始する。

基本的に4週間を最小期間とした研修を行う。2020年から必修科になる診療科については、すべて当院で研修を行えるのが特徴である。さらに救急当直研修として夜間、休日の日当直時に救急外来と救急車対応(1~3次救急)を指導医の下で診療を行う。当院の当直体制は7列体制(救急科、第1:脳外・神内、第2:循内・心外、第3:外科・整形、第4:内科、第5:産婦、第6:小児)である。

地域医療研修は2年次からの研修となるが、当院協力の200床以下の病院での研修、さらに鹿児島県立大島病院、平戸市民病院とも連携し、離島医療を経験することも可能となっている。

病院から皆さんへ：研修医の声

- カテーテル検査・心不全管理など「やってみよう」と任せてもらい、急性心筋梗塞などの対応もできました。(循内)
- 内視鏡や腹部エコーなどの手技を学ぶことができます。(消内)
- 気管支鏡をやらせてもらえ、肺炎から肺癌の治療まで学ぶことができます。(呼内)
- t-PAを含めた急性期から病棟管理・リハビリまで一貫して学ぶことができます。(神内)
- 糖尿病の教育入院患者が多く、合併症や副腎不全・下垂体機能異常の病態も学べます。(糖内)
- 病棟だけでなく外来もあり、心理検査や電気痙攣療法の見学などもできます。(精神)

- 腹腔鏡から開腹、緊急手術など様々な手術に入ることができます。(外科)
- 慢性硬膜下血腫に対する手術の執刀やカテーテル検査など、やる気次第で様々な経験ができます。(脳外)
- 顔面骨の骨折、熱傷や植皮から一般的な脂肪腫の手術まで幅広い手術が経験できます。(形成)
- 救外対応や気管支喘息・痙攣重積など幅広い症例を診ることができます。(小児)
- 挿管やCVといった手技だけでなく、全身管理の方法も学べます。(麻酔)
- 救外対応やICU管理もでき、様々な手技が経験できました。(救急)

13

医療法人社団明芳会

横浜旭中央総合病院



研修医の主な出身大学

聖マリアンナ医科大学、東海大学、横浜市立大学、日本大学、新潟大学、秋田大学、東邦大学、杏林大学、金沢医科大学

応募先

〒241-0801
神奈川県横浜市旭区若葉台 4-20-1

アクセス 田園都市線青葉台駅 JR横浜線十日市場駅
バス20分程度

TEL 045-921-6161 **FAX** 045-922-2720
URL <https://www.ims-yokohama-asahi.jp/>

医師数

病院全体： 96人

男性： 78人

女性： 18人

指導医数： 13人

研修医数： 12人

-1年目： 6人

-2年目： 6人

平均外来患者数	712人/日	
平均入院患者数	413人/日	
病床数	一般：457床	回復：58床
専門研修	有	
専攻医数	5人	
基幹プログラム	内科、麻酔科	
給与	350,000円(1年目) 380,000円(2年目)	賞与 なし
当直回数	1回程度/週 平均4回/月 (平日10,000円/1回)	
諸手当	通勤・当直・休日	
保育施設の有無	有/院外施設	

病院の概要・特色

- 病床数 515 床
- 標榜科 30 科
- 2次救急指定病院
(内科・循環器内科・外科・整形外科・脳神経外科・小児科)

「愛し愛される病院」を理念に 2 次救急指定病院、地域医療に積極的に取り組んでいます。

病床数 515 床、標榜科 30 診療科で構成され、高度医療に迅速に対応するための最新鋭の医療機器を取り揃えております。

少人数体制（定員 6 人）と豊富な症例・手技を経験でき、急性期・回復期・慢性期と治療の一連を学べます。

IMS グループは関東最大級であり、さまざまな診療科に特化した研修も選ぶことができます。できる限り希望に沿った研修ができるようサポートさせていただきます。

【プログラムの特徴】ローテーション例

1年目	内科6ヶ月			救急3ヶ月	麻酔	産婦	外科
2年目	精神	小児	地域	自由選択9ヶ月			

1年目には、内科(消内・神内・循内等)を中心にローテし、基礎を身に付け、2年目は、選択科目中心に後期研修に向け、幅広い視野を持てるようできる限り希望に沿ったプログラム希望をグループ全体でサポートします。

救急外来は2年目研修医とペアで行い、救急時の診療においても臨床医に求められる基本的な能力を身に付け、患者の全体像を把握し、常に多面的な視点により理解を深めることを意識し全人的医療を身につけることを目標としています。

病院から皆さんへ：研修医の声

私は病院見学を通じ、様々な大学出身者が研修医同士が助け合いながら研修している先輩方の姿を魅力的に感じ、当院での研修を決めました。

当院では 1 年目の早期から 2 年目とペアで救急外来業務を担当します。救急外来では、短時間での鑑別を上げ検査オーダーを入れる事が大変難しいですが、先輩方や上級医の方が迅速にフォローや指導をして下さるので自然と対応力が身に付くようになったと思

ます。不慣れだった手技も丁寧なご指導のもと少しずつ出来るものが増えてきました。また、学生時代の臨床実習とは違い、「仕事」として医療に関わることの大変さや責任感を学ぶことができ、この病院を研修先として選んだことは間違いではなかったと思います。たくさんの研修病院があるので迷われてしまうかと思いますが、上級医や病院全体の雰囲気や同期のみんなと気軽に話せる研修医室はあるか…等、ぜひ病院見学に行ってみてください。



研修医の主な出身大学

聖マリアンナ医科大学、東海大学、日本大学

応募先

〒241-0811
神奈川県横浜市旭区矢指町 1197-1

アクセス 相鉄線 三ツ境駅 徒歩約 10 分

TEL 045-366-1111 FAX 045-366-1172

URL <https://seibu.marianna-u.ac.jp/recruit-site/resident/>

医師数

病院全体：154人

男性：121人

女性：33人

指導医数：58人

研修医数：11人

-1年目：5人

-2年目：6人

平均外来患者数	833人/日	
平均入院患者数	295人/日	
病床数	一般：518床	
専門研修	有	
専攻医数	3人	
基幹プログラム	内科	
給与 (各種手当含む)	28万円(1年目) 28万円(2年目)	賞与 なし
当直回数	1回/週、平均4回/月 (平日11,000円/1回) (土17,500円/1回) (日・祝日12,500円/1回)	
諸手当	住宅・家族・通勤・当直・時間外	
保育施設の有無	有/院内、病児	

病院の概要・特色

当院は、「よこはま 21 世紀プラン」の一環として聖マリアンナ医科大学が建設した大学附属病院です。横浜市西部地区の地域中核病院として、地域住民の健康保持と疫病予防に貢献するとともに、大学病院のもつ高度な専門的治療を提供する総合的な医療機関としての役割を果たすことを目的としています。

【プログラムの特徴】

1年目は、内科を中心とした総合診療を目指した研修プログラムに加えて、手技・処置を体得するため救命救急センターと麻酔科を必須研修としています。また幅広い疾患を経験できるよう外科系・小児科・産婦人科・神経精神科も必修としています。2年目は地域必修と自由選択のプログラムであり、選択科は1か月からの研修を可能とし、聖マリアンナ医科大学病院臨床研修病院群も含めた研修も選択でき、いわゆるマイナー診療科などをキャリアデザインに合わせて選択することも可能です。また、聖マリアンナ医科大学のみではなく、同県内の協力型病院と相互に研修医が行き来する関係性が構築されております。

病院から皆さんへ：研修医の声

開院時から開設された救命救急センターでは、救命のための first aid measures から集中治療も含めた 3 次救急医療までを経験でき、瞬時の臨床判断を養うことができます。

隔週で行われる各診療科による持ち回りのセミナーでは、手技訓練の実施や活発な議論を行う場所として先輩医師や同僚とのコミュニケーションの重要性を学べます。

また、少人数での研修体制のため、研修医間での手技の取り合いがなく、手厚い指導の下豊富な手技を経験することができます。また、技師による超音波検査の技術指導や CV 研修、縫合実習等多数の実技指導を受講する機会を設けられています。医師だけではなく、全職員が臨床研修医を支援する体制が整っており、充実した研修生活へつながっております。



応募先

〒245-0006

神奈川県横浜市泉区西が岡 1-28-1

アクセス 相鉄いずみ野線弥生台駅 徒歩7分

TEL 045-813-0221 FAX 045-813-7419

URL <https://www.shinzen.jp/>

医師数

病院全体： 71人

男性： 55人

女性： 16人

指導医数： 44人

研修医数： 6人

-1年目： 3人

-2年目： 3人

研修医の
主な出身大学

横浜市立大学、慶應義塾大学、順天堂大学、東海大学、東邦大学、秋田大学、東京女子医科大学、旭川医科大学、三重大学、岐阜大学、熊本大学、琉球大学など

平均外来患者数	645.3人/日	
平均入院患者数	22.2人/日	
病床数	一般：287床	
専門研修	なし	
専攻医数	なし	
基幹プログラム	なし	
給与	309,000円(1年目) 319,000円(2年目)	賞与 2回/年 (4.14ヶ月) 2021年度実績
当直回数	3回/週程度 平均3回/月 (平日10,000円/回、土曜18,000円/回、日曜20,000円/回)	
諸手当	住宅・当直・時間外	
保育施設の有無	有/院内、病児(クリニック)	

病院の概要・特色

1867年THE YOKOHAMA GENERAL HOSPITALとして横浜山手に欧米人を中心に設立された。戦後、社会福祉法人親善福祉協会国際親善総合病院として再出発。1990年、横浜市の南西部に位置する現在地(泉区西が岡)に広大な土地を入手し、新築移転した。病床数287床、24診療科の総合病院で、高度医療に加えて「365日24時間」の救急医療は地域住民の安心を確保し、ますます地域の中核としてその役割が重要になっている。1998年12月に日本医療機能評価機構から病院機能評価(Ver.4.0一般病棟種別B)の県下第1号の認定を受け、さらなる充実に向けて取り組むとともに、地域の診療所と病診連携を密にし、入院中心の急性期病院としての特化に努力している。

【プログラムの特徴】

当院は、横浜市泉区の急性期病院として common disease を多く経験することができ、一般的な愁訴・疾患に対しそれぞれの初期診断・対応を行う機会に恵まれています。

また他科、他職種との連携もスムーズです。

研修医の先生も当院のスタッフの一員として大いに活躍しています。

- ◆各内科研修中に週1回以上の一般外来を経験すること
- ◆救急科12週のうち4週の麻酔科研修も含む
- ◆小児科、神経内科、精神科、地域医療は2年次に協力病院・施設で研修となる

病院から皆さんへ：研修医の声

当院の研修は少人数制ということもあり、1人1人に合わせた研修を行うことが可能ところが利点だと感じました。

そのため、持ち患者さんや手技の取り合いをすることなく、マンツーマンでの手厚い指導を受けられます。

症例についても心筋梗塞や脳梗塞を始め、大動脈解離・急性肺血栓塞栓症・糖尿病性ケトアシドーシス・汎発性腹膜炎を伴う敗血症性ショック・急性膵炎といった緊急疾患、癌や肺炎・尿管結石・虫垂炎・子宮筋腫といった common disease、経膈分娩(無痛分娩)や帝王切開、さらに稀少な疾患まで豊富に経験することができます。

さらに勉強会も充実しており、ICLS や BLS はもちろん、内科救急の勉強会や CPC などもあり、病理解剖がある際は研修医全員に連絡が入るシステムになっていますので、病理症例も集めることが出来ます。



研修医の 主な出身大学

日本大学、東京女子医科大学、大分大学、
埼玉医科大学、千葉大学、信州大学、帝京
大学、産業医科大学、東京大学、山口大学、
新潟大学

応募先

〒231-8553
横浜市中区山下町 268 番地

アクセス JR 根岸線石川町駅北口下車徒歩 3 分
みなとみらい線中華街駅下車徒歩 8 分

TEL 045-641-1921 **FAX** 045-671-9872

URL <https://yokohama.jcho.go.jp>

医師数

病院全体：111 人

男性：89 人

女性：22 人

指導医数：35 人

研修医数：8 人

-1 年目：4 人

-2 年目：4 人

平均外来患者数	462.4 人/日
平均入院患者数	164.1 人/日
病床数	一般：250 床
専門研修	有
専攻医数	9 人
基幹プログラム	内科、救急科、小児科、産婦人科、 精神科、外科、地域医療
給与	366,000 円(1 年目) 432,000 円(2 年目)
賞与	2 回/年(4 ヶ月)
当直回数	1 回/週 平均 4 回/月
諸手当	地域手当、通勤手当、住居手当、 特殊勤務手当等
保育施設の有無	なし

病院の概要・特色

当院は、全国に57の病院をもつ独立行政法人地域医療機能推進機構 (JCHO) グループの病院で、地域医療や地域包括ケアの要として超高齢社会における地域住民の多様なニーズに応え、地域住民の生活を支えることを目的とする公的病院です。

開設は昭和23年3月で、横浜市中心地である中区に位置し、石川町駅徒歩 3 分、元町中華街駅徒歩 8 分、関内駅徒歩 5 分の好立地にあります。二次救急拠点病院として年間3,500 台以上の救急車を受け入れ、横浜市中心疾患救急指定病院、脳血管救急指定病院となっています。併設施設として、健康管理センター・付属看護専門学校・訪問看護ステーションを持ち、中華街が隣接しており多国籍の患者を受け入れるため通訳兼医師事務が複数常駐する国際色が強い病院です。

【プログラムの特徴】

当院の研修プログラムは院内での研修を中心に、日大病院や横浜市立大学病院、横浜市立みなと赤十字病院等地域の研修関連施設の協力を得て行います。とくに地域医療研修は、地元医師会と強い連携体制で地域包括ケアシステムを実践する総合診療科の研修が特徴です。

また、2次救急拠点病院として、横浜市の多くの救急患者の受け入れを行い、豊富な症例を経験できます。

親身できめの細かい指導でプライマリアケアの基本的な診療能力を身につけるとともに、保険診療を実践しながら専門診療科の研修を行います。

さらに先端医療に触れながら、保健・予防医療福祉との連携を図ることができることを目的とします。

当直は月4回を原則とし、指導医とともに当直を行います。

病院から皆さんへ：研修医の声

研修医から一言：

JCHO 横浜中央病院は、急性期病棟で common disease を中心に様々な疾患を学ぶことができるだけでなく、地域包括ケア病棟も有しており、地域医療もしっかりと勉強することができます。高齢化が進む日本で、今後真に必要とされる医療を当院に入ってぜひ肌で感じてみてください。研修医として、中心静脈カテーテル挿入、気管内挿管、麻酔、小切開、縫合、胸腹腔穿刺などを実際に行え学べますので、手技を多く学びたい人には向いていると思います。



研修医の 主な出身大学

東京医科歯科大学、横浜市立大学、福島県立医科大学、慶應義塾大学、東京大学、群馬大学、浜松医科大学、東京慈恵会医科大学、千葉大学、新潟大学、徳島大学、日本医科大学

応募先

〒231-8682

神奈川県横浜市中区新山下 3-12-1

アクセス

みなとみらい線元町・中華街駅より
徒歩約 20 分/
各線横浜駅より市営バス約 30 分

TEL 045-628-6100 FAX 045-628-6101

URL <https://www.yokohama.jrc.or.jp/rinsho/>

医師数

病院全体：218人

男性：168人

女性：50人

指導医数：72人

研修医数：16人

-1年目：8人

-2年目：8人

病院の概要・特色

2005年の開院当初から急性期医療を担う高度な総合医療施設として期待され、横浜市の政策的医療としての365日24時間の救急医療、小児・周産期医療・精神科救急医療、緩和ケア医療、アレルギー疾患医療に積極的に取り組んでいます。標榜診療科は36科と多岐にわたり、地域のニーズに応じた医療を提供しています。中でも先進的な医療として、救命救急医療、内視鏡やカテーテル医療、がん・悪性腫瘍医療、骨・運動器疾患医療などにはとくに重点をおいています。

また、当院は近隣の約700の医療機関と密接な連携を保ち、地域中核病院としての役割を果たすべく努めるとともに、赤十字の使命である災害拠点病院としての活動も活発に行っています。

病院から皆さんへ：研修医の声

当院の研修プログラムの魅力の一つに、日本でも5本の指に入るほどの救急搬送件数を誇る救急外来での当直業務があります。老若男女・重症軽症問わず様々な患者さんが日々搬送されてきて、症例としても研修医が経験すべき症例を二年間で網羅できるほどのバリエーションの豊かさがあります。そんな多種多様な症例を、救急科上級医の後ろ盾がある環境で、研修医がひたすら初期対応にあたっていくので、初期診療のスキルをどんどん向上させていくこと

【プログラムの特徴】

当院の臨床研修の魅力の一つは、全国トップレベルの救急医療です。「断らない救急」を合言葉に、年間1万台を超える救急車とともに多くの直接来院患者を受け入れ、重症度、患者背景など実に多様な症例を経験することが可能です。さらに、多数の内科系・外科系を含む診療科(標榜診療科36科)を擁し、将来を見据え様々な診療科で研修することができます。

また、内科、外科、整形外科、救急科、麻酔科、精神科は専門研修プログラムの基幹施設となっており、臨床研修からのシームレスな移行も可能です。

指導医陣は、日々の診療においては研修医の主体性を大事にした指導を行うとともに、各種セミナーにおいては講義や研修医の発表指導を通じて研修医の成長を援助するなど、非常に教育的です。

救急科専攻医(当院初期研修修了) 吉澤和夫

ができます。当直には一年目・二年目研修医両方が入るので、二年目では後輩の指導という形でさらなる学びが得られる、症例経験として最高の環境となっています。また、どんなに忙しい環境でも必ず救急科上級医や内科系 / 外科系を始めとした当直医の先生方によるフィードバックが入るので、日々安心して確実な成長が期待できます。向上心豊かな皆さんと救急診療を通して一緒に成長していく日々を心から待っています!



**研修医の
主な出身大学**

横浜市立大学、札幌医科大学、秋田大学、山形大学、群馬大学、獨協医科大学、埼玉医科大学、東京医科大学、東京女子医科大学、東京慈恵会医科大学、東海大学、産業医科大学、東邦大学、昭和大学、帝京大学、日本医科大学、順天堂大学、杏林大学、北里大学、聖マリアンナ医科大学、浜松医科大学、山梨大学、新潟大学、富山大学、信州大学、滋賀医科大学、奈良県立医科大学、徳島大学、山口大学、長崎大学、川崎医科大学、佐賀大学、宮崎大学、大分大学など

応募先

〒232-0024
神奈川県横浜市南区浦舟町 4-57

アクセス 市営地下鉄 阪東橋駅 徒歩 5 分

TEL 045-253-5392 **FAX** 045-253-5702

URL <https://www.yokohama-cu.ac.jp/urahp/>

医師数

病院全体：465 人

男性：317 人

女性：148 人

指導医数：91 人

研修医数：104 人

- 1 年目：52 人

- 2 年目：52 人

平均外来患者数	1886.2 人/日
平均入院患者数	548 人/日
病床数	一般：726 床 療養：0 床
専門研修	有
専攻医数	約 98 人
基幹プログラム	内科、外科など計 10 領域
給与	約 370 万円(1 年目) 賞与 2 回/年 約 400 万円(2 年目) (約 3 ヶ月分)
当直回数	1 回/週 平均 4 回/月 (15,400 円/1 回)
諸手当	家賃・通勤・当直等
保育施設の有無	有/院内

病院の概要・特色

横浜市立大学附属市民総合医療センターは、横浜市の中核病院として、優れた医療人の育成に力を注ぐとともに、時代を先取りした理念・施策を全職員が共有し、働きやすい職場環境を整備しています。また、「市民の皆様へ信頼され『地域医療最後の砦』となる病院を創造する」ことを理念とした、横浜市内で最大の病床規模(726床)を有する病院です。

当院では、市民の皆様の様々な医療需要に応えるため、高度救命救急センターをはじめ、心臓血管センター、総合周産期母子医療センター、精神医療センター、小児総合医療センターなど様々な領域の救急医療に取り組んでいます。また、疾患別センターを中心に、関連専門医がチームを組んで高度専門医療を実践するほか、平成 20 年度に設置した、臨床研究推進センターを充実・強化し、質の高い臨床研究を積極的に支援するなど研究環境の改善を図り、臨床研修を重視した病院づくりを推進しています。

【プログラムの特徴】

大学附属病院としての高度専門医療に加え、地域医療支援病院としての高度救命救急医療からプライマリ・ケアを含めた幅広い医療を同時に経験することが可能であり、神奈川県有数の地域中核病院との「たすきがけ」研修を行なっています。

研修プログラムの特徴としては、高度救命救急センター、心臓血管センター、総合周産期母子医療センター、精神医療センターなどの救急を扱う部門が充実していること、心臓血管センター、消化器病センター、呼吸器病センターなど内科と外科が一体となった疾患別センターを構成していること、総合周産期母子医療センターのように妊娠・出産から新生児に至る過程を一体的に診療できること等が挙げられます。

さらに、協力施設との連携を積極的に行うことによる神奈川県医療システムへの早期体験することにより、初期臨床研修後の専攻プログラムへと続くシームレスな教育を通じて、独立した医師の育成を目指しています。

病院から皆さんへ：研修医の声

非常に専門性の高い医療を提供しており、大学病院ならではの稀有な症例を経験できることに加え、市中病院で経験するような多くの common disease も診療しています。また、附属病院や神奈川県内の地域中核病院との「たすきがけ研修」ができるため、2 年間でプライマリアケアから専門的な高度医療まで偏りなく、幅広く医療に携わっていけるという利点があります。

全国から集まる仲間と切磋琢磨しながら研修が行える環境にあり、様々な出身大学の同期と過ごす毎日かけがえのない財産です。また、同期の仲間だけでなく、熱意にあふれた上級医の先生が多くいらっしゃるため、自身のロールモデルを描きやすく、幅広い世代の患者さま、医師、看護師、コメディカルスタッフとの出会いもあり、自ら求めればそれだけ多くの人から学べる機会に溢れています。

センター病院での研修を希望する皆さんと一緒に働けることを心より楽しみにしています。



研修医の主な出身大学

横浜市立大学、北海道大学、札幌医科大学、弘前大学、岩手医科大学、秋田大学、山形大学、新潟大学、福島県立医科大学、富山大学、金沢大学、金沢医科大学、福井大学、群馬大学、埼玉医科大学、筑波大学、日本大学、順天堂大学、東京医科大学、杏林大学、東邦大学、日本医科大学、帝京大学、昭和大学、東海大学、北里大学、聖マリアンナ医科大学、信州大学、山梨大学、愛知医科大学、浜松医科大学、滋賀医科大学、三重大学、大阪市立大学、近畿大学、関西医科大学、鳥取大学、島根大学、香川大学、愛媛大学、高知大学、長崎大学、久留米大学、福岡大学、九州大学、熊本大学、宮崎大学等

応募先

〒236-0004

神奈川県横浜市金沢区福浦 3-9

アクセス

シーサイドライン市大医学部駅
徒歩 1 分（駅直結）

TEL 045-787-2800 FAX 045-787-2931

URL <https://www.yokohama-cu.ac.jp/fukuhp/>

医師数

病院全体：547人

男性：385人

女性：162人

指導医数：111人

研修医数：61人

-1年目：22人

-2年目：39人

平均外来患者数	1,818人/日	
平均入院患者数	511人/日	
病床数	一般：674床	
専門研修	有	
専攻医数	101人	
基幹プログラム	内科、外科ほか 15 分野	
給与	月額 200,400 円 (1 年次・2 年次)	賞与 2 回/年
当直回数	1 回/週 平均 4 回/月 (15,400 円/1 回)	
諸手当	住宅・通勤・宿日直	
保育施設の有無	有/院内、病児、病後児	

病院の概要・特色

横浜市立大学附属病院は、病院理念にもありますように『市民が心から頼れる病院』として、また、『高度でかつ安全な医療』を皆様に提供させていただくとともに『質の高い医療人を養成』することを使命として皆様の診療にあたらせていただいております。

医育機関としては、神奈川県にある唯一の公的医育機関附属病院として、将来の優秀な医療の担い手を育てるべく、最高の医学教育を目指しております。そのため、各専門診療領域のエキスパートをそろえ、質および安全性において最高の医療を行うべく努力しています。

また、当院は、平成13年1月1日に承認された横浜市内唯一の特定機能病院として、日々安全かつ先端的・先進的な医療の提供に努めています。

【プログラムの特徴】

横浜市立大学附属病院の臨床研修プログラムは、自由度が高いことが特徴です。まず、横浜市立大学附属2病院と19の協力病院でたすきがけ研修を行っております。また、1年目に大学病院を回るコースでは、1年目から診療科を選択することが可能です。

2年次の地域医療研修では、北は北海道から南は沖縄まで、全国17の協力施設から研修先を選択することができ、充実した研修を行うことができます。(協力施設は現在も拡充中。)

ほかに、当院に在籍している期間には、研修を行いながら大学院に通うことができます。

研修医の出身大学も様々で、全国から集まっていることに加え、他病院からの研修医の受け入れも頻繁に行っているため、広く人事交流を行うことができます。

病院から皆さんへ：研修医の声【研修医の声をいくつかご紹介します。横浜市大附属病院では皆さんをお待ちしています。】

- 指導してくださる先生が多いため、ひとつの症例でいろいろな意見を聞くことができました。一步踏み込んで自分で考えること、自分の考え方を整理することなどが研修の期間に身に付くことは大事だと感じました。
- 学生時代に「大学病院は処置や手技が経験できない」と聞いていましたが、実際は市中病院と比べても少ないとは思いませんでした。手技や処置が少ないから、雑用が多いから、と大学病院での研修を避けることはないと思います。
- 3年目以降の進路を選ぶときに、入局を視野に入れると大学病院にいることは情報量が多くメリットが大きいと思います、情報戦ですから。将来、神奈川県や横浜市で働きたいので。
- シミュレーションセンターが良い。機材が豊富で、ダヴィンチシミュレーターも導入されました。



研修医の主な出身大学

横浜市立大学、群馬大学、琉球大学、秋田大学、浜松医科大学、富山大学、新潟大学、兵庫医科大学、北里大学等

応募先

〒236-0037

神奈川県横浜市金沢区六浦東 1-21-1

アクセス 京浜急行線追浜駅 徒歩 7 分

TEL 045-782-2101 FAX 045-701-9159

URL <https://www.minamikyosai.jp/>

医師数

病院全体：194人

男性：129人

女性：65人

指導医数：48人

研修医数：16人

-1年目：8人

-2年目：8人

平均外来患者数	1409.8人/日
平均入院患者数	456.7人/日
病床数	一般：565床

専門研修	有
専攻医数	38人
基幹プログラム	内科
給与	263,000円(1年次) 278,100円(2年次)
賞与	1年次：1回(給与1か月分) 2年次：2回(給与1か月分)
当直回数	1回/週 平均4回/月 (1年次：21,000円/回) (2年次：41,000円/回)
諸手当	住宅・通勤・当直
保育施設の有無	有

病院の概要・特色

当院は、横浜市の南部地域における基幹病院としての高度な医療設備を備え、患者サービスの向上に努めています。

「患者さんの立場に立った思いやりのある医療」の提供を目指し、急性期型医療の提供や、24時間の救急医療体制を実施し、地域医療の中心的役割を果たしています。

【プログラムの特徴】

当院での研修の特色は、入院・外来ともに患者数が豊富で、ほとんどすべての疾患、病態を経験できること、更に救急診療にも力を入れており、各診療科の救急患者を経験できることです。

また、数多くの学会の認定教育施設になっており、先端的な高度医療に触れることも可能です。

希望研修科を選択できる期間も多くとっています。選択の地域医療研修として、協力施設である宮古島徳洲会病院・石垣島徳洲会病院に毎年6名ほど派遣しています。

病院から皆さんへ：研修医の声

基幹型の研修指定病院として二十余年。最初からスーパーローテーション方式を採用し、臨床研修指導医講習会受講医が中心となって研修システムを作り、多くの研修修了医師を輩出してきました。当院の研修システムは研修を修了していく先輩たちの意見を取り入れながら、毎年毎年進化しているのが特徴です。私達の研修システムの進化の1ページを開いてくれる積極的な学生諸君をお待ちしています。



研修医の主な出身大学

横浜市立大学、慶應義塾大学、東邦大学など

応募先

〒234-0054

神奈川県横浜市港南区港南台 3-2-10

アクセス JR 京浜東北線港南台駅 徒歩 3 分

TEL 045-832-1111 **FAX** 045-832-8335

URL <https://www.nanbu.saiseikai.or.jp/>

医師数

病院全体：185人

男性：000人

女性：000人

指導医数：45人

研修医数：22人

-1年目：11人

-2年目：11人

病院の概要・特色

当院は横浜市と済生会が共同で建設し、運営は済生会が行っております。横浜市大、慶応大、東邦大の各医学部からの医師で発足し、現在も学閥にこだわらない新しいアカデミックな病院であり横浜市南部地域の地域中核病院として6区約100万人を対象とした救急医療、高度先進医療、症例の豊富さが特徴です。現在では「福祉医療相談室」、「済生会南部訪問看護ステーション」「横浜市港南台地域ケアプラザ」の運営などを通して福祉医療の推進に努める一方、地域医療支援病院、災害医療拠点病院、地域周産期母子医療センター、小児救急拠点病院、臨床研修病院、看護師養成実習病院としての役割にも重点を置いています。各学会の認定医、専門医の教育指定病院として学術活動にも力をそそいでいます。初期研修医にとっては、カテーテル治療を積極的に取り組んでいることや手術件数が多いこと、常勤の救急専門医がいること、高性能CTが導入されていること、スキルラボが整備されていること、医療用外国語教育制度を有するなど、魅力ある病院です。

病院から皆さんへ：研修医の声

当院では、研修1年目の必修である救急外来は、研修医が患者をファーストタッチで診ていきます。患者の症状は多様で、最初のうちはどうに対応すればいいのか、戸惑うこともありましたが、しかし、救急専門の先生がいらっしゃることで、緊急時はすぐに判断を仰ぎますが、基本的には一人で診察・診断し、他科へのコンサルトの必要があるかを考えるため、知識や判断力を養う絶好の機会となります。病院には研修医用室があります。研修医しかいないので気兼ねなく話せまし、当然自分用のデスクがあり、無線LANも入っています。電子カルテも見られますので、前日の当直帯に来た患者や病棟の気になる患者のミ

【プログラムの特徴】

医師としての人格を涵養し、将来の専門分野にかかわらず、医学・医療の社会的ニーズを認識しつつ、日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的な診療能力（態度・技能・知識）と、生涯にわたり臨床、研究、教育を患直に行っていく医師としての素養を自己研鑽できるように能力を身に付けることを目的としている。1年次はまず、オリエンテーションで「医療安全」、「感染対策」、「医療倫理」、「接遇」、「災害医療」、「静脈注射」、「採血」、「薬剤処方」、「電子カルテの操作」、「図書・文献の利用方法」など、実際の診療を開始する上で必要な研修項目を全研修医が共に研修する。その後、原則内科を6ヵ月、救急診療科を2ヵ月、必須研修（外科、小児科、産婦人科、麻酔科（当院独自））を4ヵ月研修する。2年次は地域医療1ヵ月、救急診療科1ヵ月、精神科1ヵ月（1年次後半の場合あり）を必須項目として研修し、残りの期間は自由に選択した科目を研修する。また、東邦大学医学部の三つの病院とは双方のプログラムを研修できる関係になっている。なお、済生会横浜市東部病院では救急科（3次救急）を経験できるほか、地域医療研修は済生会のスケールメリットを生かして、県内はもとより東北や九州（離島研修も行う）などで実施でき、バラエティに富んでいる。

ニカンファレンスも自然発生しています。また、研修医は1学年13名（横浜市立大学からのたすきがけ含む）で和気あいあいとやっています。研修医の出身大学は北海道から沖縄までさまざまです。2年目の研修は最大9ヵ月自由に選択できます。志望の科が決まっていれば、その科だけをひたすら研修することも可能です。手技についても、早いうちからCVカテ、ルンパル、Aラインなど経験でき、外科系をローテートしている時は、外科ならヘルニアオペ、整形外科ならアンブレーション、婦人科なら付属器摘出なども指導の下、経験ができます。ぜひ気軽に見学に来てください。

22 横浜栄共済病院



研修医の 主な出身大学

秋田大学、山形大学、群馬大学、横浜市立大学、金沢大学、浜松医科大学、山梨大学、信州大学、三重大学、東京慈恵会医科大学、金沢医科大学

応募先

〒247-8581
神奈川県横浜市栄区桂町 132 番地

アクセス 京浜東北・根岸線本郷台駅 徒歩 7分

TEL 045-891-2171

URL <https://www.yokohamasakae.jp/index.html>

医師数

病院全体：115人

男性：92人

女性：23人

指導医数：30人

研修医数：17人

-1年目：9人

-2年目：8人

平均外来患者数	810.3人/日	
平均入院患者数	347.0人/日	
病床数	一般：430床 療養：0床	
専門研修	有	
専攻医数	13人	
基幹プログラム	内科	
給与	222,500円(1年目) 265,000円(2年目)	賞与 2回
当直回数	3~4回/月 (21,000円/1回)	
諸手当	住宅・扶養・通勤・当直・時間外	
保育施設の有無	なし	

病院の概要・特色

病院の母体である国家公務員共済組合連合会は、全国で地域医療の中核となる32病院を運営しています。当院は人口12万人余の横浜市栄区唯一の急性期型病院で、診療圏は港南区、戸塚区、鎌倉市に広がります。1980年代に都市化が進んだこの地域は横浜市全体と比較して、現在高齢化が進んでおり、栄区の健康寿命は横浜市18区のなかでトップクラスです。4疾病（がん、脳卒中、心筋梗塞、糖尿病）および1事業（救急医療）においては診療が地域で完結することを目指し、診療精度を向上させるとともに連携体制を構築し、円滑な推進を図って参ります。

また当院は、2019年に80周年を迎えました。2018年9月の新棟完成、2019年秋のグランドオープンを経て、快適な療養環境のもと、地域医療を新たなステージへと高めることを目指しています。

【プログラムの特徴】

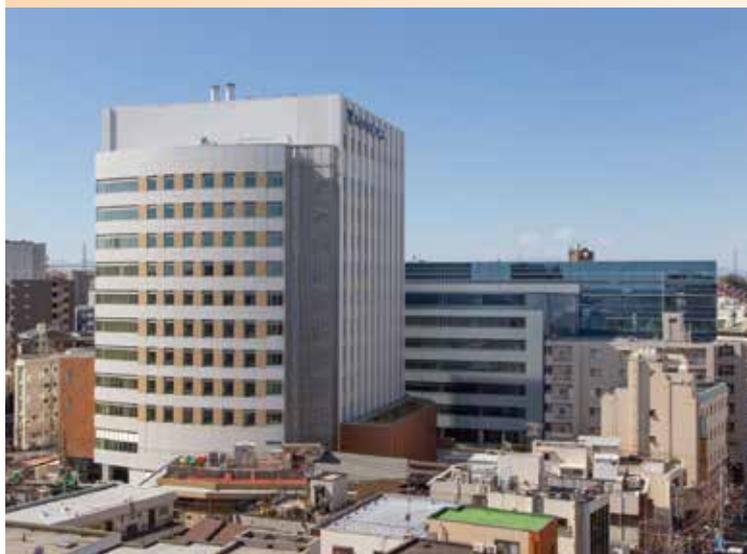
2年間の研修プログラムでは、研修が義務付けられている各科60週を除いた44週については、当院の診療科すべてから自由に選択できるシステムをとっています。そのため、44週全てを内科あるいは、いわゆるマイナー外科を含む外科系を選択できるなど、研修医1人1人の多様な希望にフレキシブルに応えることができます。

研修ローテーションは、1年次は、原則として必修科目の研修を行い、2年次は、4週の地域研修、その他48週は希望科で研修を行います。また、一般外来研修を内科研修・地域研修と並行して行います。

初年度の夏から始まる当直業務では、初期臨床研修で最重要視されるプライマリーケアについて、内科、外科、脳卒中、心疾患4人の当直医と一緒に幅広く様々な救急疾患について実地で学ぶことができます。

病院から皆さんへ：研修医の声

- 当院の研修の一番のポイントは、救急車で来た患者さんをファーストで診察し、上級医の先生に相談する機会が多く与えられることだと思います。自分でアセスメントを行い、フィードバックをもらうことで先生方の考え方やスキルを多く学ぶことができます。手技を経験させてもらう機会も多く、上級医の先生が手取り足取り教えて下さいます。
- 毎月内科・外科各勉強会があり、研修医同士で発表し合うことで新しい知識を得られます。4~6月の研修医勉強会では、上級医が研修医のカルテをチェックしたりミニレクチャーにて指導を受ける機会もあります。
- 科同士の垣根が低く、困ったことがあれば相談しやすい環境で、看護師さんたちも優しいため雰囲気良く、研修医にとっては非常に働きやすい環境です。新しく建て直したきれいな病院で気持ち良く働けます。お待ちしております！



研修医の主な出身大学

帝京大学他

平均外来患者数	1,003 人/日	
平均入院患者数	312 人/日	
病床数	一般：400 床 療養：0 床	
専門研修	有	
専攻医数	23 人	
基幹プログラム	内科、産婦人科、小児科、皮膚科、泌尿器科、 麻酔科、リハビリテーション科	
給与	240,000 円(1 年目) 240,000 円(2 年目)	賞与 なし
当直回数	1 回/週 平均 3~4 回/月 (6,000 円/1 回)	
諸手当	当直・時間外	
保育施設の有無	有/院内保育室	

応募先

〒213-8507 神奈川県川崎市高津区二子 5-1-1

アクセス 東急田園都市線 高津駅 徒歩 1 分
東急田園都市線・大井町線 溝の口駅・
J R 南武線 武蔵溝ノ口駅 徒歩 8 分

TEL 044-844-3333 **FAX** 044-844-3201

URL <http://teikyo-mizonokuchi.jp>

医師数

病院全体：409 人

男性：289 人

女性：120 人

指導医数：94 人

研修医数：19 人

-1 年目：10 人

-2 年目：9 人

病院の概要・特色

【診療科目】

内科・循環器内科・外科・整形外科・産婦人科・小児科・眼科・耳鼻咽喉科・
皮膚科・泌尿器科・精神科・放射線科・麻酔科・脳神経外科・脳神経内科・
リハビリテーション科・心療内科・形成外科・消化器内科・消化器外科・

呼吸器外科・歯科・臨床検査科・病理診断科

【概要・特色】

当院は帝京大学医学部附属の第2の病院として「地域に根ざした高度で良質な医療を実践します」の理念のもと、日々診療を行っております。

日本で初めて腹腔鏡を使用した胆嚢摘出術を実施した病院であり、現在も内視鏡手術の症例が多く一部ロボット手術も行っております。

また、駅前という立地や病院を感じさせないエントランスやラウンジ等、来院された方がリラックスして過ごすことができる空間となっております。

【プログラムの特徴】

当院ではしっかりと各科研修を行えるよう原則5週単位の研修とし、必修科目の内科25週、救急部門14週、麻酔科6週、外科・小児科・産婦人科・精神科・地域医療を各5週、自由選択を18診療科より最大6診療科を研修することができます。

ERはありませんが、二次救急病院として救急患者を受け入れており、研修医は月3~4回の救急当直を行います。

病院から皆さんへ：研修医の声

帝京大学溝口病院は大学病院と市中病院の二つの特徴を併せ持った病院です。

確かに大規模な大学病院と比較するとベッド数は少なく、扱っていない科目もありますが、その分市中病院の様に Common Disease を数多く取り扱う病院であり、それらに対する対応力を高く伸ばしていく事が出来ます。

また、研究発表も盛んで、1年次から学会発表や論文投稿といった学術方面の指導も積極的に行われています。

規模が小さい分、教授から研修医、そしてコメディカルといった他種職の方々との距離も近く、困ったときは常にいろいろな方々に相談できる環境が整っています。

当院で扱っていない科目に関しても後期研修からにはなりますが、提携病院での研修も可能であり、まずは医師としての基礎を高めたいという方にうってつけの病院だと思います。

24 聖マリアンナ医科大学病院



応募先

〒216-8511 神奈川県川崎市宮前区菅生 2-16-1
聖マリアンナ医科大学病院臨床研修センター

アクセス
小田急線 向ヶ丘遊園駅、生田駅、百合丘駅、新百合ヶ丘駅
東急田園都市線 あざみ野駅、宮前平駅、溝口駅、鷺沼駅
JR南武線 武蔵溝ノ口駅 各駅よりバス約15分から30分

TEL 044-977-8111 FAX 044-976-7253

URL <https://marianna-residency.com/>

給与	230,000円(1年目) 230,000円(2年目)	
月収	約290,000円 (宿日直、救急当直等の諸手当込み)	
諸手当	宿直手当(平日)	11,000円
	宿直手当(土曜日)	17,500円
	宿直手当(日曜祭日)	12,500円
	日直手当(日曜祭日)	12,500円
	時間外手当・通勤手当： 教職員給与規定の定める範囲内で支給する。	
地域医療研修：交通費支給する		
保育施設の有無	有/院内、病児	

研修医の主な出身大学

聖マリアンナ医科大学、富山大学、愛知医科大学、東海大学、浜松医科大学、昭和大学、岩手医科大学、帝京大学、杏林大学、千葉大学、海外の大学

grow together ~人として医師として成長できる場所~

【病院の概要・特色】

① 臨床能力

一般診療から専門診療まで、診察科の垣根を越えて学ぶ事ができる!



② 運用体制

総勢200名を超える指導医と独自制度により研修内容も充実!

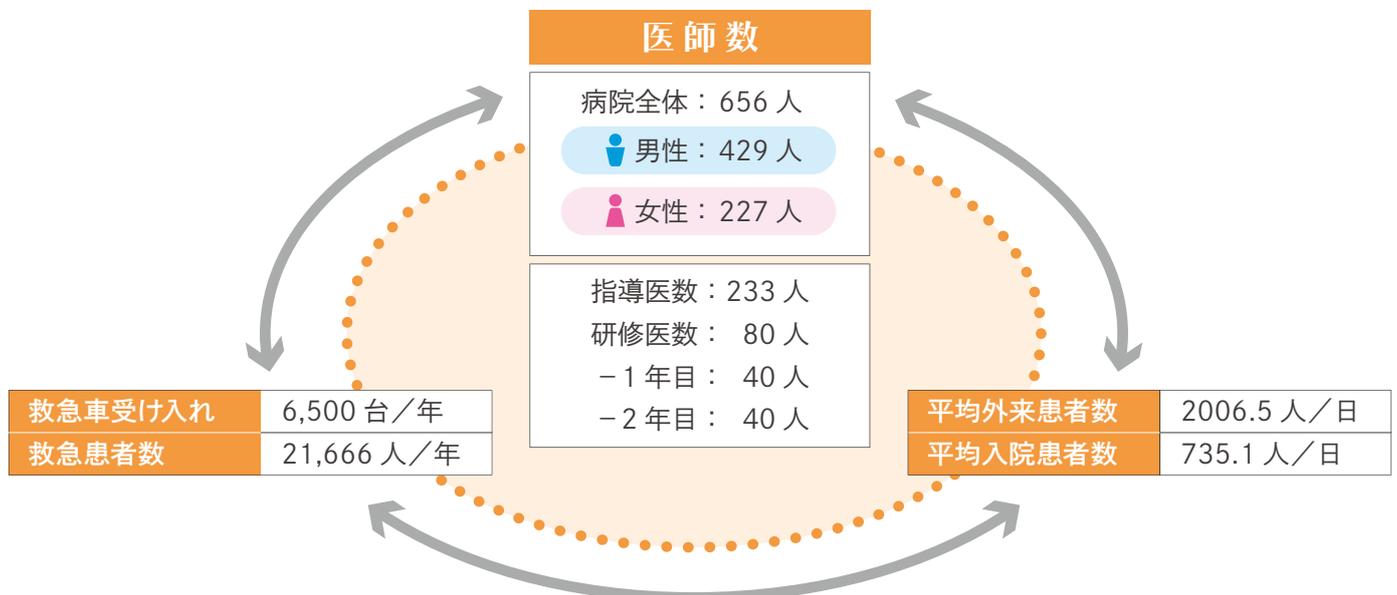


③ 環境設備

豊富な研修施設、寮や保育施設など職場環境も整っています!



病院全体でサポートすることで**圧倒的な臨床経験と知識**を得ることができる!!



25 川崎市立多摩病院



研修医の 主な出身大学

聖マリアンナ医科大学、東邦大学、大分大学、北里大学、杏林大学、埼玉医科大学、千葉大学、筑波大学、東海大学、東京女子医科大学、東北医科薬科大学、新潟大学、日本大学、北海道大学、横浜市立大学

応募先

〒214-8525
神奈川県川崎市多摩区宿河原 1-30-37

アクセス 小田急線・JR 南武線登戸駅 徒歩 3分

TEL 044-933-8111 **FAX** 044-933-8436

URL <http://www.tama-resident.jp/>

医師数

病院全体：138人

男性：97人

女性：41人

指導医数：50人

研修医数：20人

-1年目：10人

-2年目：10人

平均外来患者数	755人/日
平均入院患者数	234人/日
病床数	一般：376床 療養：0床
専門研修	有
専攻医数	20人
基幹プログラム	内科、総合診療
給与 23万円	賞与 なし
当直回数	平均4回/月 (11,000円～17,500円/1回)
諸手当	通勤・当直・時間外
保育施設の有無	有/院外、病児

病院の概要・特色

川崎市立多摩病院は川崎市が設立し、聖マリアンナ医科大学が指定管理者制度のもと運営する公設民営の自治体病院で、市中病院と大学病院双方の特長を併せ持っています。

また当初より24時間365日救急医療・小児救急医療・災害時医療を基本とした急性期病院として発足し、急性疾患から慢性疾患まで幅広く診断・治療を行う地域の基幹病院としての役割を果たしています。

当院の研修は、小児を含む救急診療や総合的な内科診療を軸に、多岐にわたる多数の疾患を第一線で診ることができるプライマリケア習得に重点をおいています。

【プログラムの特徴】

基本的な臨床スキルをバランスよく伸ばしていく研修スタイルで、将来どの科に進んでも困らないだけの高い基礎力を身につけることが可能です。

日当直では主に救急車・救急外来を担当し、入院診療においては十分な指導体制の下で責任をもって取り組むことができます。勉強会の機会も多く、モーニングレクチャーや外部講師勉強会、日々の研修を行いながら超音波や画像診断を学ぶことができるコースを用意しています。評価は電子ポートフォリオを使用し、ローテーションごとに指導医およびTutorがフィードバックを行っています。

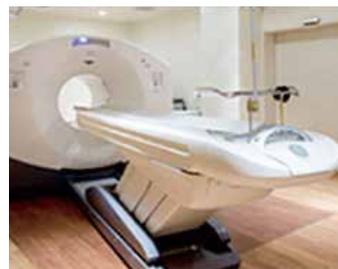
2年次の研修では、様々な特徴をもった地域医療研修施設や3次救急を行っている病院、より専門的な研修が可能な施設を選択でき、より多くの経験ができるようなプログラムとなっています。

病院から皆さんへ：研修医の声

総合医局が研修室の向かいにあり、診療科の垣根が低くコンサルトもしやすい環境です。当直帯も指導医のサポート体制が整っているので安心！勉強会も多く、朝のレクチャーではERですぐに使える各診療科の講義や、病棟業務のコツ、縫合トレーニングなどの手技まで幅広く学べます。外部講師を招聘しての勉強会では、研修医がリクエストした内容に沿って講義をいただいたり、英語でのレクチャー・カンファレンスなど多彩です。研修医室や専用当直室があり、研修医室は徒歩5分圏内なので、出勤時間の短縮になる上にとってもきれいです。また病院は駅からは3分と立地も良いので、ぜひ見学にいらしてください！

研修について聞きたいことは、なんでも研修医に質問してみてくださいね。

ホームページの見学申込よりお問い合わせください。お待ちしております！



研修医の主な出身大学

千葉大学、群馬大学、神戸大学、順天堂大学、東京医科大学、新潟大学、広島大学、日本大学

応募先

〒215-0026

神奈川県川崎市麻生区古沢都古 255

アクセス 小田急線新百合ヶ丘駅 徒歩約 10 分

TEL 044-322-9991 FAX 044-322-8688

URL <http://www.shinyuri-hospital.com/recruit/>

医師数

病院全体：200人

男性：148人

女性：52人

指導医数：163人

研修医数：8人

-1年目：4人

-2年目：4人

平均外来患者数	1,095人/日
平均入院患者数	489人/日
病床数	一般：563床
専門研修	有
専攻医数	11人
基幹プログラム	内科、救急科、麻酔科、産婦人科
給与	350,000円(1年目) 400,000円(2年目)
当直回数	1回程度/週 平均4回程度/月
諸手当	住宅・当直
保育施設の有無	有/院内

病院の概要・特色

新百合ヶ丘総合病院は川崎市北部医療圏、特に麻生区において救急・産科・小児科医療を行う総合病院が必要であるという地域の要望のもと開設し、PET-CTやダヴィンチ手術システム、サイバーナイフ、最新型リニアック(トゥルービーム)などを導入してがんの診断・治療体制の充実を図り、2016年3月には神奈川県がん診療連携指定病院となり、さらに、2018年3月には地域医療支援病院の認定を受けました。2020年4-5月には186床増床による病床数563床の総合病院となり、新棟移転拡充の救急センター・救急病棟20床、回復期リハビリテーション病棟100床、緩和ケア病棟21床、脳卒中センター SCU 9床などが開設されました。現在、常勤医師数200名、うち産婦人科常勤医師22名、小児科医8名、救急科6名(5名専門医のうち指導医5名かつ集中治療専門医3名)が在籍しています。このような充実した指導体制のもと新たな初期臨床研修プログラムにも十分に対応できる上、現在も取り組んでいる働き方改革においても対応推進することができ、良好な研修環境が整備されております。

【プログラムの特徴】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						救急科	外科	小児科	産婦人科	精神科	
	副宿日直研修(17:30~8:30) 指導医1名・研修医1名						副宿日直研修(17:30~8:30) 院内オンコール体制(8:30~17:30) 指導医1名・研修医1名					
	当直約4回/月 ※救急科研修としてカウント											
2年次	地域医療	自由選択科										
		一般外来(週1回)										
		副宿日直研修(17:30~8:30) 院内オンコール体制(8:30~17:30) 指導医1名・研修医1名										
	当直約4回/月 ※救急科研修としてカウント											

研修方式は2年間の総合研修方式です。1年次から2年次4月までは、内科6ヶ月、救急科2ヶ月(含麻酔科1ヵ月)、外科、小児科、産婦人科、精神科、地域医療各1ヶ月を必修として各々をローテートします。2年次5月からは、自由選択科で研修します。1年次5月より当直約4回/月、2年次より一般外来1回/週に入り、並行研修を行います。

病院から皆さんへ：研修医の声

新百合ヶ丘総合病院は、小田急線新百合ヶ丘駅から徒歩10分、新宿まで電車で25分と、都心へのアクセスも良い場所にあり、病院がある神奈川県川崎北部医療圏は、2010年国勢調査において人口820,047人、人口増加率6.75%であり、日本の中でも有数の人口増加圏です。人口10万人あたりの病院数は全国平均6.62と比較し川崎北部医療圏は2.44と低く、将来にわたり医療ニーズが高い地域であり、医療の質を落とすことなく、的確な診療を行うことが必要です。当院で研修を行うことで、こうした都市医療圏の医療

事情を理解し、地域の実情に合わせた実践的な医療を行えるような、日本を支える臨床医を育成したいと考えています。

当院の雰囲気を感じていただくことは将来の自分をイメージする大変貴重な機会になると思います。実際に現場で働く研修医の姿を見ていただくことができると、さらにイメージしやすいと思います。適性や志向をはっきりさせた上で病院見学していただければ有意義なものになります。積極的に足を運んで、現場の動きを体感してみてください。どんな座学よりも、大きな学びになると思います。

27 川崎市立川崎病院



研修医の 主な出身大学

毎年北海道から九州まで全国より集います。受験生が多い大学（慶應義塾大学、東京慈恵会医科大学など）の出身者が複数採用される年もありますが、もちろん特定の大学への優遇は一切ありません（2022年は204名の医学生に志願いただきました）。

応募先

〒210-0013 神奈川県川崎市川崎区新川通 12-1
川崎市立川崎病院庶務課労務研修担当宛

アクセス JR 東海道線川崎駅 徒歩10分程度です
東京駅へ17分、横浜駅へ10分

TEL 044-233-5521 **FAX** 044-245-9600

URL <https://www.city.kawasaki.jp/32/cmsfiles/contents/0000037/37856/kawasaki/>

医師数

病院全体：200人

スタッフ：143人

専攻医・研修医：57人

指導医数：66人

研修医数：24人

-1年目：14人

-2年目：10人

平均外来患者数	1,194人/日
平均入院患者数	443人/日
病床数：713床	一般663床 精神38床 感染12床
専門研修	有
専攻医数	46人
基幹プログラム	内科、外科、小児科 救急科等8診療科
給与 年収概算	約610万円(1年目) 賞与 2回/年 約630万円(2年目)
当直回数	平均4回/月 うち2回は救命 センター当直(安心の環境です)
諸手当	時間外・夜勤手当・通勤費等
保育施設の有無	有/院内

病院の概要・特色

- 当院は、川崎市南部最大の基幹病院であり、病床数713床、30以上の診療科を有します。川崎市は東京駅へは17分、横浜駅へは10分と交通至便な距離にあります。川崎市で市街化が最も進んでいる川崎区の中央部に位置し、高度化・情報化をキーワードに救急医療、地域医療連携、総合診療体制などの充実を行っています。
- 大学病院と同水準の高度先進医療から、自治体病院ならではのプライマリ・ケア対応に至るまで、臨床研修医が経験しておきたい医療の全てをこの病院で経験できることが、大きな魅力といえます。
- 若手医師は全国各地から集い、活気のある明るい雰囲気になっています。

病院から皆さんへ

【病院からのメッセージ】

- 幅広い分野をアクティブに経験したいと考える積極的な臨床研修医を求めています。
- ともに学び、ともに成長する仲間として、臨床研修医の皆さんを迎えたいと考えています。
- 臨床研究・学会発表に関する支援・教育体制も充実しています。

【プログラムの特徴】

- 臨床研修医として入職した最初の4月は、全員が医師として身に着けるべき知識・技術を集中的に学びます。充実したオリエンテーション学習により、自信を持って安心したスタートをきることが出来るため、臨床研修医から大変好評です。
- 1人ひとりのニーズにできるだけ応えるよう、厚生労働省の定めの中では最大限に自由度を高めたプログラムです。また700床規模の病院で1学年10名の少人数体制を敷いているため、年度途中の研修科変更も行きやすい環境になっています。
- 地域医療研修は、全員が自然豊かな北海道中標津町で受けることができます。
- 学会発表・研究活動もさかんです。

【臨床研修医の声】

- 「川崎病院で経験できないことは無い」と言い切れるくらいに、充実した教育体制です!
- 個人の頑張り次第では、指導医の見守りのもとで専攻医と同じ水準の活躍も可能です!
- 研修医同士、とても仲良く、心地よい雰囲気は抜群です!
- 将来のキャリア・パスについても、教育指導部の先生方が親身に相談にのってくれます!



**研修医の
主な出身大学**

弘前大学、鳥取大学、北里大学、横浜市立大学、昭和大学、日本大学、愛媛大学、東海大学、筑波大学、埼玉医科大学、琉球大学、順天堂大学 等

応募先

〒210-0833
神奈川県川崎市川崎区桜本 2-1-5

アクセス JR 線川崎駅 バス 15 分

TEL 044-299-4781 FAX 044-299-4788

URL <http://www.kawasaki-kyodo.jp/medical-student>

医師数

病院全体： 28 人

男性： 19 人

女性： 9 人

指導医数： 11 人

研修医数： 6 人

-1 年目： 3 人

-2 年目： 3 人

平均外来患者数	197 人/日	
平均入院患者数	235 人/日	
病床数	一般：106 床	地域包括ケア：106 床
	回りハ：40 床	
専門研修	有	
専攻医数	2 人	
基幹プログラム	総合診療科、内科	
給与	345,000 円(1 年目) 365,000 円(2 年目)	賞与 2 回/年 (2.2 ヶ月)
当直回数	1 回/週 平均4回/月(40,000円/1回) 当直手当は独り立ち後の値段見習いは 5,000 円・副当直は半額支給	
諸手当	住宅・家族・通勤・当直・時間外	
保育施設の有無	有/院内、病児、病後児	

病院の概要・特色

川崎協同病院は川崎市南部の京浜工業地帯にほど近い地域にある、所謂市中の中小病院になります。一例一例の症例を大事にしながら研修することを旨にしている研修病院で、若手医師も多く、医局の明るい雰囲気が自慢です。また川崎協同病院では、卒後臨床研修評価機構第3者評価も更新していますが、サーベイヤーからも高い評価を受けており、最高評価を頂いております。

私たちの医療機関では、「地域の住民の立場に立って、親切でかかりやすい病院」を目指しています。「病気」だけを診るのではなく、「人」を診る視点も育てることを研修の重点に据えています。悪化する社会情勢の中で、経済的に困難な方が増え、病気をもちながらも病院にかかれぬ人が増えています。病気の裏にある今日のこうした社会背景にも目を向けるような医師づくりを私たちは目指しています。

【プログラムの特徴】

当院では将来の専門性や働く場所に関わらず、医師として大切な土台をしっかりと作る研修を掲げています。特徴の一つが指導医との距離の近さです。指導医に相談することは緊張しますが、指導医が「どんなに小さなことでも聞くように」というメッセージを発信し、相談し易い雰囲気を作っています。

さらに、総合医局のため、科毎の垣根もなく、ローテート中の科でなくても気兼ねなくコンサルトできます。また、当院ではメンター制度も導入しています。研修に関して直接の指導医に言いにくいこと、プライベートな悩みなどを相談することができますので、安心して研修に臨むことができます。

病院から皆さんへ：研修医の声

①多職種で患者の背景まで診る

“生活に困難を持った患者さんを病院の中だけで診るのではなく、退院後の生活まできちんと見通せるように病院全体で動いている”、ということに非常に感銘を受けてこの病院で初期研修をしたいと思いました。研修を始めてからもその印象は変わりませんが、いざ自分がそこに加わってみると、医師だけではどうにもならない事が山ほどあるということを改めて実感しました。

②主体性を引き出す教育力

初期研修の教育にも熱心で、朝の勉強会もそうですが、自分で考えて判断する能力や、分からないことができた時に解決する力、EBMを行うとは本当はどういうことなのか、といった3年目以降に必要な事を色々な場面で繰り返し教わります。将来の専門性や働く場所に関わらず、患者さんを診る上で大切な事を学べます。ぜひ一度病院に来て実感してください。



研修医の 主な出身大学

岐阜大、琉球大、東京医科歯科大、旭川医科大、昭和大、慶應義塾大、浜松医科大、金沢大

応募先

〒210-0852
神奈川県川崎市川崎区鋼管通1丁目2番1号

アクセス JR線川崎駅、京浜急行線京急川崎駅下車
臨港バス(鋼管循環)10分

TEL 044-333-5591 **FAX** 044-333-5599

URL <https://www.koukankai.or.jp>

医師数

病院全体： 79人

男性： 63人

女性： 16人

指導医数： 25人

研修医数： 8人

-1年目： 4人

-2年目： 4人

平均外来患者数	866人/日
平均入院患者数	278人/日
病床数	急性期：310床 地域包括ケア：48床
専門研修	有
専攻医数	11人
基幹プログラム	内科(定員9名)
給与	339,000円(1年目) 364,000円(2年目)
当直回数	4回/月(14,000円/1回)
諸手当	住宅(研修医寮)・当直・ 時間外手当
保育施設の有無	有/院内保育園

病院の概要・特色

当院は、1937年に川崎市最初の総合病院として開設しました。当初、企業立病院としてスタートしましたが、現在は地域医療を担う川崎南部圏の基幹病院として「すべては患者さんのために」という基本理念の下、地域住民に開かれた病院運営をしています。救急医療をはじめ、健診や人間ドックといった予防医学、透析や糖尿病などの慢性疾患、訪問看護ステーションによる在宅医療にも力を入れており、近隣医療機関との連携を含めて地域完結型の医療活動を実践しています。

【プログラムの特徴】

将来目指す専門領域にかかわらず、まずは医学、医療の社会的なニーズを認識し、すべての臨床医に求められるプライマリ・ケアを身に付けることに主眼を置いています。そのために必要不可欠な医学的知識や技能を修得すべく、2年目には放射線科1ヶ月を通して画像診断スキルを向上し、また地域医療においては往診や企業内診療所における産業医の現場健康管理もプログラムに組み込んでいます。

病院から皆さんへ：研修医の声

当院では、研修医が自分で考えながら積極的に診療していける一方、上級医、指導医がしっかり相談に乗ってくれる体制が整っており、安心して研修をおこなうことができる環境があります。

研修医は、1学年4名と少人数なので腰椎穿刺、中心静脈挿入、気管内挿管などをはじめ、このほかにもさまざまな手技や症例を十分に経験できます。また興味深い症例があればどの診療科をまわっていたとしても、診療に参加できる自由度があり、自身のモチベーションによってメリハリのついた研修を行うことができます。

定期的に臨床に楽しく臨めるような指導医の勉強会が開催されており、しっかり勉強する時間も確保されています。また論文作成の指導も受けることができ、2年間の間に学会発表の機会も与えられています。

休日もしっかり取れていますので疲弊することなく、個人のやる気やモチベーションに合わせて柔軟な研修ができることが当院の魅力です。

30 川崎幸病院



研修医の 主な出身大学

北海道大学、岩手医科大学、山形大学、福島県立医科大学、新潟大学、富山大学、順天堂大学、東京女子医科大学、東邦大学、山梨大学、浜松医科大学、高知大学、熊本大学、琉球大学

応募先

〒212-0014
神奈川県川崎市幸区大宮町 31 番地 27

アクセス JR川崎駅西口から徒歩 10分

TEL 044-544-4611 **FAX** 044-549-4858

URL <https://saiwaihp.jp/>

医師数

病院全体：133人

男性：112人

女性：21人

指導医数：96人

研修医数：16人

-1年目：8人

-2年目：8人

平均外来患者数	73人/日
平均入院患者数	306人/日
病床数	一般：326床 療養：0床
専門研修	有
専攻医数	19人
基幹プログラム	内科、外科
給与	1年目：250,000 2年目：280,000 別途夜勤手当、時間外手当実費支給(約300,000～500,000)
賞与	なし
夜勤回数	4～6回程度(11,000円/1年目 20,000円/2年目)
諸手当	住居補助、夜勤手当、時間外手当
保育施設の有無	有

病院の概要・特色

川崎幸病院は1973年の開設以来、川崎市幸区を中心に川崎市南部及び横浜市北部の診療圏とする民間急性期病院として活動してきました。

2012年6月にJR川崎駅より徒歩10分の場所に新築移転し、全326床中49床の集中治療部門(ICU・ACU・CCU・HCU・SCU)を整備するなど、都市型高度急性期医療の提供に力を注いでいます。

326床と中規模の医療機関ながら年間救急搬送受入数約10,000台を受け入れ、地域の中核病院としての機能を担っています。また、手術室は全10室がフル稼働し、年間手術件数は5,000件を超えています。

【プログラムの特徴】

年間約10,000台の救急車を受け入れている救急外来でのER研修における豊富な臨床経験と、high volumeな手術数の外科部門での研修のみならず、内科系研修も外部医療機関と協力しながら幅広い分野の研修を受けてもらえる充実した内容となっています。

また、選択期間も長く、院内にある多彩な診療科や、海外の医療機関を選択することも可能です。初期研修の2年間、研修医それぞれに上級医のチューターがつきますが、入職後のオリエンテーション期間(1～2か月間)は、ほぼマンツーマンで院内の案内やカルテの使い方を教えたり、医師としての心構えを話したりしています。さらに、診療科のローテーション開始後もチューターは2年間先輩医師として担当し続けてくれます。

研修医の自主性を重んじながら、指導医のみならず、病院全体で初期研修医を支えています！

病院から皆さんへ：研修医の声

医者としての初めての2年間は今後の自分のキャリアをどう形成していくのか明確にしていくとともに、基本的な診療スキルや社会人としての振る舞いを学ぶ期間であると考えています。

川崎幸病院は川崎市南部にある、川崎市南部二次医療圏における地域医療支援病院であり、急性期医療を担う中核病院として365日、24時間「断らない救急」を理念に掲げている病院です。

私が川崎幸病院で研修医になり、最も医者になったと実感したのは救急科での当直が始まった時でした。研修医は一年目の5月初旬よりERで当直が始まりますが、学生時代に座学で勉強したこと以外にも、患者さん一人一人が抱える社会的な問題に直面しとても苦労した日々を思い出します。自分の未熟さを感じる日々でしたが、臨床研修センターには救急部長の先生がいらっしゃるの、普段

の救急外来での症例を勉強会で取り上げてくださったり、診療に際しての経験やスキルを余すことなく教えてくださり、日々成長をすることができました。また、週一回開催される放射線カンファレンスでも、当直中の症例を放射線科の先生たちと振り返りをさせていただきました。

このように各診療科の先生方が熱心に研修医を育てようとして下さる風潮が強く、ローテーションで診療科が変わるたびに少し寂しいと感じるほどでした。自分自身がこの二年間で感じたことは、上級医の先生方が精神的にも肉体的にも如何にタフであるかということです。そんな先生方に囲まれながら、日々遅く成長できる当院で研修をしてみたいと考えている方は、是非見学にいらしてください。心よりお待ちしております。



令和3年9月1日
新病院開院

研修医の主な出身大学

日本医科大学、北里大学、聖マリアンナ医科大学、帝京大学他

応募先

〒211-8533 神奈川県川崎市中原区小杉町 1-383

アクセス

東急電鉄「東急東横線・目黒線」
「武蔵小杉駅」JR線方面改札徒歩約4分
「新丸子駅」西口より徒歩約4分
JR「南武線・横須賀線・湘南新宿ライン」
「武蔵小杉駅」北口より徒歩約4分

TEL 044-733-5181 FAX 044-711-8726

URL <https://www.nms.ac.jp/kosugi-h/>

医師数

病院全体：182人

男性：133人

女性：49人

指導医数：87人

研修医数：24人

-1年目：12人

-2年目：12人

平均外来患者数	846人/日
平均入院患者数	322人/日
病床数	一般：372床 療養：0床
専門研修	有
専攻医数	11人
基幹プログラム	麻酔科・救命救急科・内科・総合診療科・小児科・形成外科
給与	279,700円/税込(1年目) 284,700円/税込(2年目)
当直回数	5回/月(内、日直1回含む) (9,600円/1回*加算有り)
諸手当	住宅・通勤・当直・時間外
保育施設の有無	有/院内、病児

病院の概要・特色

内科は循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、脳神経内科、腎臓内科、内分泌・糖尿・動脈硬化内科、リウマチ・膠原病内科、腫瘍内科に分け、外科は消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、乳腺外科、内分泌外科、小児外科があり幅広い研修が可能です。

循環器内科と心臓血管外科など、内科系と外科系の科が合同カンファランスを開き、更に病理診断科や放射線科など中央部門が参加することにより十分な議論を行い、よりよい治療法を選択する事が可能です。

総合診療科ではプライマリケア診療能力を身に付ける事ができます。

感染制御部はICD、ICN、薬剤師、検査技師など組織横断的に構成された部門で、感染症に対する中央診療部門として活動しています。

精神科医はコンサルテーション・リエゾン診療を行っています。

【プログラムの特徴】

「大学病院と市中病院の特徴を兼ね備えた研修」

- ①スタッフの数が多い。
- ②診療科が揃っている。
- ③専門的治療部門がある。

「市中病院的な要素」

- ①研修医の数が多すぎない。
- ②Common Diseaseを多く診れる。

「夜間救急外来当直」

1・2年次に関わらず各月に2回程度(土・日を含め)各科研修指導医・上級医の指導のもと行います。

「日本医大の特色」

救命救急センターはもちろん、周産期母子医療センター(NICU、GCU)、消化器外科等の大学病院ならではの高度専門医療の研修を受けられます。

病院から皆さんへ：研修医の声

充実した研修生活を送りましょう！

武蔵小杉病院での研修の最大の魅力は大学病院と市中病院の両方の側面を兼ね備えているところです。指導医の先生のご指導を受けながら、病棟や当直業務では、研修医が患者さんを診療し、自身で必要だと思う処置や処方を考え、実際に行うことが可能なため、研修医に任される仕事も非常に多いです。そして、各専門領域に詳しい多数の上級医から指導を受けられるので、自身が偏った考え方になることなく技術や診察方法の幅を広げられます。

朽名 紗智子 先生 日本医科大学武蔵小杉病院
2022年度1年次初期臨床研修医

病院内の雰囲気も良く、看護師さん、薬剤師さん、技師さん、事務の方々など、様々な病院スタッフの皆さんにも気軽に相談できる病院です。

また選択期間も長く、診療科も多いため、研修は頑張りたいけど、将来のプランはまだ決まっていない…そんな方には特におすすめです!!一緒に最高の研修生活を過ごしましょう!



研修医の主な出身大学

【2021年度採用】海道大学、富山大学、金沢大学、群馬大学、東京大学、東京医科歯科大学、日本大学、千葉大学、横浜市立大学、熊本大学
 【2022年度採用】山形大学、東京大学、京都大学、横浜市立大学、東京慈恵会医科大学、東邦大学、産業医科大学

応募先

〒211-8510
 神奈川県川崎市中原区木月住吉町1番1号

アクセス JR/ 東急東横線武蔵小杉駅 徒歩 10分

TEL 044-411-3131 FAX 044-433-3150

URL <https://www.kantoh.johas.go.jp/kenshuu/tabid/497/Default.aspx>

医師数

病院全体：216人

男性：158人

女性：58人

指導医数：94人

研修医数：23人

-1年目：12人

-2年目：11人

平均外来患者数	1,470人/日
平均入院患者数	421人/日
病床数	一般：610床 療養：0床
専門研修	有
専攻医数	6人
基幹プログラム	内科
給与 月額見込み 33万円(1年目) 37万円(2年目)	賞与 約9万円(1年目) 約13万円(2年目)
当直回数	平均約4回/月 (約11,000円/1回)
諸手当	住宅・家族・通勤・時間外・夜勤
保育施設の有無	有/院内保育所

病院の概要・特色

当院は労災病院という全国に散らばる病院組織の一つであり「勤労者医療の充実」などを業務の一環として行う病院ですが、医学生の方々に関係があるとすれば、その出自と関連して整形外科が非常に大きい病院である点だと思えます。整形外科志望者にはもちろん、そうでない方にとっても十分な研修機会を提供できる研修病院です。

病院の特性としては600床規模の2次救急病院であり、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、災害拠点病院などの公的な指定を受けています。初期研修に大切なのはその病院で現実的な水準、範囲、量の診療が実際に行われていること、また、研修医が病院内で存在意義を十分に発揮できることですが、当院はその性質をどちらも満たしていると言えます。

交通の便がよく、大きな商店街もあり生活の利便性が高いことも特色の一つです。

【プログラムの特徴】

当院のプログラムの特徴の一つは多くの診療科を選択できることで、進路決定に配慮して1年目の終盤の時期から選択枠を配置しています。

それと同時に、進路に関わらず多様な診療場面や業務を経験してもらえるような研修運営を行っています。

臨床的な勉強は、必要に迫られてどこの病院の研修でもすることになります。初期研修で大事なものは、患者や医療行為の実物を見、関連する事柄を想像できるようになることだろうと思います。当院では皆さん自身ではまず触れないであろう視点、特に公費負担医療制度、病院内の各種の仕組みについて知ることができるような集合研修を行っています。目の前の行為にだけ気を取られて年月を過ごしてしまわないよう、医療を取り巻く環境や制度設計にも少しだけでも関心を持ってもらうことは皆さんの将来に必ず役立つだろうと思っています。

病院から皆さんへ：研修医の声

- 関東労災病院では、バランスの良い研修をすることができます。内科・外科・マイナー科から幅広く選択が可能となっています
- 関東労災は何とんでも整形が強いですが内科もきちんと揃っていて9割整形、みたいな人もまだ志望が決まっていな人にもあった研修ができる病院です。
- 研修医どうし、上級医、コメディカルとの雰囲気も良く教育的

- 研修中に実感したのは同期の大切さです。研修医室でカルテを見ながら患者さんの経過について振り返ったり、当直で自分の対応で良くなかった部分を聞いてもらったり、本当に支えになってくれました。そして先輩・上級医の先生方は経験と知識で私達を助けてくださり、本当に感謝しています。

33 川崎市立井田病院



研修医の主な出身大学

慶應義塾大学、千葉大学、信州大学、岐阜大学、順天堂大学、愛媛大学、秋田大学、弘前大学

応募先

〒211-0035 神奈川県川崎市中原区井田 2-27-1

アクセス

東急東横線日吉駅より東急バス「さくらが丘」行き「井田病院正門前」下車。(約8分)
または徒歩 15分

TEL 044-766-2188 FAX 044-788-0231

URL <https://www.city.kawasaki.jp/33/cmsfiles/contents/0000037/37855/ida/index.html>

医師数

病院全体： 99人

男性： 65人

女性： 34人

指導医数： 29人

研修医数： 12人

-1年目： 7人
(たすぎがけ2人含む)

-2年目： 5人

(有期常勤医含む)

(令和4年4月1日時点)

病院の概要・特色

東急東横線日吉駅から近い丘陵地にあり、緑豊かな療養環境を提供しつつ川崎市中央部の2次救急を含む中核的医療を担っております。

地域がん診療連携拠点病院として、特に消化器系、泌尿器系、乳腺のがん診療に定評があり、在宅緩和ケアセンターでは、緩和ケア、在宅ケア、高齢者医療をプライマリ・ケア、家庭医療にもとづき病棟・在宅の垣根なく総合的に診療しています。

また、腎臓・透析センターと糖尿病診療部門は地域の成人病センターを担い、伝統ある呼吸器部門は結核から肺がん、在宅酸素療法まですべてに対応しています。

さらには、職員の教育研修にも力を注いでおり、外科学会、内科学会をはじめとする各種学会の認定教育病院として認められています。

病院から皆さんへ：研修医の声

研修医の数が一学年7人程度と比較的少人数で、各科をローテーションする際はひとつの診療科に研修医は一人か二人のため上級医から手厚い指導を受けられるので非常に充実した研修生活を送ることができます。

当院での研修は柔軟性が高く、約8カ月間は自由に診療科を選択することができます。途中で自分の興味が変わったりした時はローテーションする診療科を変更することもできます。

川崎市立の病院は井田病院、川崎病院、多摩病院の3つがあり、各病院と連携があります。井田病院には小児科がなく、ま

【プログラムの特徴】

研修は2年間の各科ローテーションとし、研修科目の順序や選択科目については研修医の希望や進路を勘案して決めることができます。

- (1) 研修科目：内科(24週：1年次必修)、救急医療(12週：1年次必修)、地域医療(4週：2年次必修)、外科(12週)、小児科(4週)、産婦人科(4週)、精神科(4週)が必修科目。内科、救急、外科は当院で、地域医療は臨床研修協力施設の地域の診療所または北海道の町立中標津病院で、小児科、産婦人科、精神科は川崎市立川崎病院で研修を実施。他の科目は選択とするが最短研修期間は概ね4週単位。
- (2) 救急医療：内科、外科、整形外科などの患者を対象として救急外来の専任として独立した期間を設けて研修を実施。
- (3) 緩和医療：2年目には初期臨床研修の総括としてがん末期患者に対する緩和医療の研修を4週選択することを必修とします。
- (4) 当直：原則的に実施。

た精神科、産婦人科は外来診療のみを行っています。これらの科は連携している病院である、川崎市立川崎病院で研修することができます。また、井田病院にある診療科であっても、希望すれば、川崎病院でも研修を行うことができ、複数の病院で幅広い症例の経験を積むことができます。

当直では研修医は基本的に救急外来で患者さんのファーストタッチを行います。必ず上の先生とペアで当直に入るので優しく教えていただきながら当直業務を行えます。当直明けは休みになっています。



※2021年1月より新病院へ移転



応募先

〒252-5188
神奈川県相模原市緑区橋本台 4-3-1

アクセス JR 横浜線、京王線橋本駅 バス 10分

TEL 042-761-6020 FAX 042-713-3525

URL <http://www.sagamiharahp.com/>

医師数

病院全体：125人

男性：105人

女性：20人

指導医数：74人

研修医数：20人

-1年目：10人

-2年目：11人

研修医の主な出身大学

日本大学、北里大学、聖マリアンナ医科大学、東海大学、宮崎大学、福井大学、高知大学、東京医科大学、杏林大学、東邦大学、弘前大学

平均外来患者数	902.2人/日
平均入院患者数	301.9人/日
病床数	一般：394床 感染症：6床
専門研修	有
専攻医数	9人
基幹プログラム	内科科、外科
給与 300,000円(1年目) 350,000円(2年目)	賞与 合計60万円(1年目) 合計105万円(2年目)
当直回数 5回/月 1年目：13,000円/1回 2年目：18,000円/1回	
諸手当	住宅・家族・通勤・当直・時間外
保育施設の有無	有/院内、病児

病院の概要・特色

当院は終戦直前の昭和20年8月、この地域の無医村解消のために神奈川県農業会「相模原病院」として開設(20床)、昭和43年には現在の「相模原協同病院」へ改称、以後、長きに渡り地域中核病院の役割を担ってきた。平成23年4月に相模原市は政令指定都市となり、総人口は70万人を超え、市内医療圏では北里大学病院に次ぐ高精度な医療機器等を導入し高度な医療提供に努めてきた。また相模原医療圏では2次医療の中心的病院として地域医療に貢献、建物の老朽化から2021年1月には新病院建設し現在地へ移転し、循環器疾患ならびに脳卒中に関しては365日応需体制を築き上げるまでに成長している。

【プログラムの特徴】

[ローテーション]

- 内科(呼吸器・消化器・循環器・腎臓)の4診療科を8週ずつ、外科(消外、呼外、心外)、麻酔科、精神科、産婦人科、小児科、総合内科(外来実習)、地域医療は各4週、救急は12週。自由選択は32週。

[地域研修]

- 地域医療はJA新潟県厚生連佐渡厚生病院、もしくは医療法人球陽会海邦病院(沖縄県宜野湾市)の選択制。

[学会発表]

- 学会発表の機会を全員に与える。(院内学術集会・地方会・日本/関東農村医学会、等)

病院から皆さんへ：研修医の声

研修管理担当者より：臨床研修制度の目的は「プライマリケアの基本的な診療能力(態度・技能・知識)を身に付けること」です。新社会人として働き始める皆さんには加えて、2年の間に「楽しく働く事の素晴らしさ」を学んで頂きたいと考えています。相模原医療圏では断トツの8000台に及ぶ救急搬送を請負う当院で、ERの中心は紛れもなく20人の研修医達。数多くの症例を担当する事で知識のみ獲得のみではなく、医師として本質的に重要な様々な場面での細やかな応待を経験する事になります。卒業時には自信を持って次の

のステージで活躍していく姿が目に見えそうです。

研修医より：内科では上部内視鏡検査や気管支鏡検査を経験、心臓カテーテル治療やペースメーカーの植込み等の観血的手技にも参加。外科ではヘルニア、虫垂炎、気胸などの小手術・開閉胸、内シャント手術、血管内治療を経験できる。臨床研修のための各科専門医・指導医を揃え、多くの学会認定施設として若手医師の育成にもも力を入れている当院で、熱意ある先輩やファイトあふれる同僚と一緒に働きましょう!



応募先

〒252-0375 神奈川県相模原市南区北里 1-15-1

アクセス

小田急線相模大野駅下車
北里大学行きバスで20～30分

TEL 042-778-7830 FAX 042-778-9371

URL <https://www.khp.kitasato-u.ac.jp/bosyuu/kensyu/>

医師数

病院全体：661人

男性：478人

女性：183人

指導医数：194人

研修医数：72人

-1年目：34人

-2年目：38人

研修医の主な出身大学
(予定を含む)

岩手医科大学、大阪医科薬科大学、埼玉医科大学、川崎医科大学、北里大学、近畿大学、慶應義塾大学、帝京大学、東海大学、東京女子医科大学、東邦大学、獨協医科大学、富山大学、新潟大学、日本大学

病院の概要・特色

北里大学病院は職員全員が医療の質の向上と安全な医療を目指して、臨床教育に全力で取り組んでいます。私たちは1971年7月の開設以来「患者中心の医療」をテーマに掲げてきました。さらに「共に創りだす医療」を合言葉に求められる医療を考え、あるべき医療を創っていきます。

また、高度で先進的な医療を実践しながら、地域医療を支える市民病院的な役割も担っています。2014年5月には、新大学病院が開院し設備面での向上が図られました。2020年4月からは北里大学東病院は大学病院に移転・統合することとなり、全人的医療を展開できる環境が一施設で整いました。

また、新病院に隣接して臨床教育研究棟が新設され、個人の机や仮眠室など研修医に対する教育環境を整備して、新しい時代を担う人材の育成を進めています。

【プログラムの特徴】

基本プログラムと周産育成プログラムの2つの研修プログラムがあります。基本プログラムには選択自由度重視コースとたすき掛け方式コースの2つのコースを設定しています。いずれのプログラムも研修開始前に予め選択した2年次の研修診療科を1年次の12月の時点で組み替えてプログラムのリセットを可能にしています。これに伴い、研修開始後のライフプランを反映した研修プログラムの変更が可能となり、柔軟なシステムとなっています。また、たすき掛け方式コースの新設により、大学病院での研修と市中病院での研修を同時に行うことができるようになっています。

必修の地域医療研修では、大学病院では経験できないプライマリケアを実践する場として、沖縄や長崎県の離島をはじめ、新潟、長崎などで地域の中核となる市中病院の他、産業医や在宅診療を経験できる協力施設をもち、幅広い研修の選択肢を提供しています。

平均外来患者数	2,476人/日
平均入院患者数	823人/日
病床数	一般：1,143床 精神：42床
専門研修	有
専攻医数	214人
基幹プログラム	
内科、小児科、皮膚科、精神科、外科、整形外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、脳神経外科、放射線科、麻酔科、病理、臨床検査、救急科、形成外科、総合診療	
給与	2022年度年収見込み 4,523,407円 ※2021年度の全研修医の実績に2022年度に新設した地域手当を加えた金額
賞与	1回/年 30,000円(1年目) 50,000円(2年目)
当直回数	0～4回/月 ※診療科により異なる(8,600円/1回)
諸手当	時間外、住宅、通勤、扶養
保育施設の有無	有り(敷地内) 院内に病児保育室も完備

病院から皆さんへ：研修医の声

研修医から皆さんへのメッセージは当院のホームページをご覧ください。

<https://www.khp.kitasato-u.ac.jp/bosyuu/kensyu/>



研修医の主な出身大学

- 2年次 一産業医大(2)、日本医大(2)、北里大、慈恵医大、東京医大、宮崎大(8名)
- 1年次 一岩手医大(2)、香川大、鹿児島大、杏林大、埼玉医大、順天堂大(7名)
- 来年度 秋田大、香川大、北里大、佐賀大、慈恵医大、東京医大、弘前大(7名)

応募先

〒252-0392
 神奈川県相模原市南区桜台 18-1

アクセス 小田急線小田急相模原駅 徒歩12分

TEL 042-742-8311 **FAX** 042-742-5314
URL <https://sagamihara.hosp.go.jp/saiyou/syokuinbosyu.html>

医師数

病院全体：153人	指導医数：36人
男性：109人	研修医数：15人
女性：44人	-1年目：7人
	-2年目：8人

平均外来患者数	771.3人/日
平均入院患者数	327.2人/日
病床数	一般：458床 療養：0床
専門研修	有
専攻医数	3人
基幹プログラム	内科
給与	時給 2,510円 諸手当別途 賞与 なし
当直回数	1回/週 平均3回/月 ※超勤支給
諸手当	通勤、当直、超勤等
保育施設の有無	有/院内、病児

病院の概要・特色

当院は、神奈川県政令指定都市である相模原市南部の中核病院として位置しております。政策医療における免疫異常疾患(リウマチ、アレルギー)分野での高度専門医療施設として指導的役割を果たしており、小児や成人の気管支喘息、食物アレルギー、関節リウマチの患者数は本邦有数です。また、併設の臨床研究センターでは、診療に直結した研究が活発的に行われ、多くの学会発表や論文を通じて、情報の発信を行っております。平成27年12月に施行されたアレルギー疾患対策基本法において、当院は国立成育医療研究センターとともにアレルギー疾患の中心拠点病院として認定されました。同時に29診療科を有する総合医療施設として隣接医療施設との連携による地域完結型の医療を目指す地域医療支援病院としての役割も担っています。「がん、成育、精神」医療に関する専門医療施設にも指定されており、手術件数も昨年は内視鏡手術を中心に約4,000件となりました。また救急科を中心に相模原市内の2次救急にも対応して、年間約5,000台の救急車を受け入れております。

【プログラムの特徴】

●研修プログラムの特色

当院の初期臨床研修プログラムは、あらゆる診療場面で必要とされるプライマリケアの習得を目的とし、各人の将来の専門性に役立つものとしている。内科(32週)、外科(8週)、小児科(4週)、産婦人科(4週)、精神科(4週)、救急(4週一ブロック研修、4週一麻酔科、4週一2次救急対応)、麻酔科(救急4週+8週)、地域医療(4週)を必須とする。1年次には早期から週1回午後には救急当番を課し、初診から検査・診断・治療を研修する。当院は相模原市の2次救急を担っており、応需日を中心に指導医とともに診療に当たる(4-6回/月程度)。地域医療研修(4週)は、在宅医療往診専門施設または地方市中病院で実施する。相模原保健所での地域保健研修も可能。

●臨床研修の目標

医師として必要なすべての診療科に共通の基本理念、プライマリケアを習得させる。さらに、医学・医療に対する社会的ニーズを認識し、日常診療で遭遇する疾病・病態に対応できる広い範囲の初期対応技能・知識を習得する。

病院から皆さんへ：研修医の声

- 相模原病院応募資格-当院の選考試験は面接のみです。応募要件は以下の通りです。
1. マッチングプログラム参加者
 2. 2022年度医師国家試験に絶対合格できる方
 3. きちんと相手の目を見て挨拶のできる方
 4. 医師を目指した志を忘れず、一生懸命に研修できる方
 5. 人の話に耳を傾けることができる方
 6. ある程度の一般常識のある方
 7. チーム医療が可能な程度の協調性がある方
 8. 事前の見学(必須)にて相模原病院を好きになってくれる方

病院見学や面接で皆さんの熱い思いをお聞かせください。お問い合わせお待ちしております。



応募先

〒240-0195 神奈川県横須賀市長坂 1-3-2

アクセス 京浜急行バス 横須賀市民病院徒歩 1分

TEL 046-856-3136 FAX 046-858-1776

URL <http://yokosuka-shimin.jp>

医師数

病院全体： 56人

男性： 46人

女性： 10人

指導医数： 23人

研修医数： 10人

-1年目： 6人

-2年目： 4人

(たすきがけ2名含む)

病院の概要・特色

当院は、横須賀西部・三浦地区の基幹病院として急性期医療を中心に担っている。診療科は約30科と多岐にわたり、各専門領域の診療、救急医療、がん・緩和医療などそれぞれが質の高い医療を提供している。また、地域医療支援病院、災害拠点病院、二種感染症医療機関などに指定され、高度の専門性を持った疾患からCommon Diseaseまで幅広い疾患を経験することができる。

研修では、1診療科に対し1学年1人の研修医を配置することで、きめ細やかな研修ができるよう配慮している。常勤医師は、主に横浜市立大学からの医局派遣医師であり、横浜市立大学との協力体制が構築されており、研修終了後に専門研修先として横浜市立大学各医局への局紹介もスムーズである。

病院から皆さんへ：研修医の声

私が横須賀市立市民病院での臨床研修を決めた理由は、少数精鋭できめ細かな指導体制が整えられていることです。一学年が10人を越えるような大所帯での研修環境と比べ、研修医一人一人の責任は重く、常に指導医の目が光り、その中で厳しくも暖かい指導を受けています。

また、指導医の先生方だけではなく、看護部やコメディカルスタッフとの緊密な連携の中で行われる研修では、様々な視点から医療のあり方を学ぶことが出来、将来あらゆる分野に進んでも大きな財産となると先輩方からのアドバイスも頂いています。

プライマリケアを重視しつつも、各専門分野のエキスパートが揃っており、専門性の高い領域の研修も充分すぎるほどに行えます。医師としての第一歩を歩み出すには最適の環境が整えられた病院です。学生の皆さん、ぜひ一度私たちと共にこの病院で研修期間を過ごし、この病院の良さを感じ取って下さい。

研修医の
主な出身大学

北里大学、福岡大学、浜松医科大学、東北大学、弘前大学、岡山大学、東海大学、新潟大学、島根大学、福島県立医科大学など

平均外来患者数	430人/日
平均入院患者数	183人/日
病床数	一般：482床
専門研修	有
専攻医数	8人
基幹プログラム	内科
給与	480万円(1年目) 600万円(2年目) 60時間固定残業代相当分込
当直回数	1回/週 平均4回/月 (1万円/1回)
諸手当	住居・扶養・通勤・当直
保育施設の有無	有/院内

【プログラムの特徴】

- (1) 頻度の高い疾患の診断と治療ができる
- (2) 救急の初期治療ができる
- (3) 適切な時期および方法で他科に紹介できる
- (4) 診療内容を適切に記載する習慣とともに、正確に伝達する能力を身につける
- (5) コメディカルとのチーム医療を適切に行う
- (6) 患者とその家族との信頼関係を築くことができる
- (7) 医療の持つ社会性を十分に理解し、社会貢献のための適切な行動が取れる



▲ドクターカー



▲うわまち塾(ミニレクチャー)の様子

研修医の主な出身大学 弘前大学、順天堂大学、聖マリアンナ医科大学、東海大学、日本医科大学、横浜市立大学、信州大学、浜松医科大学、大阪医科大学、三重大学、山口大学、熊本大学、宮崎大学、琉球大学

応募先

〒238-8567
神奈川県横須賀市上町 2-36

アクセス 京浜急行線横須賀中央駅 徒歩 12分

TEL 046-823-2630 **FAX** 046-827-1305

URL <https://www.jadecomhp-uwamachi.jp/>

医師数

病院全体：121人

男性：90人

女性：31人

指導医数：44人

研修医数：16人

-1年目：8人

-2年目：8人

平均外来患者数	443.8人/日※R3年度	
平均入院患者数	257.4人/日※R3年度	
病床数	一般：367床 療養：50床	
専門研修	有	
専攻医数	8人	
基幹プログラム	内科、小児科、救急科	
給与	月額：1年次 400,000円 2年次 500,000円	賞与 ー
当直回数	約1回/週 平均約4回/月	
諸手当	住宅・家族・通勤・夜勤(10,000円/回)ほか	
保育施設の有無	有 / 院内、病児、病後児	

病院の概要・特色

【概要】 三方を海に囲まれ気候温暖な横須賀で、急性期から、社会復帰まで一貫した患者支援を基本にしている。また、日帰り手術センターをはじめとして、機能に特化したセンター化を進め、効率的で高度な診療システムを構築するとともに、“顔の見える診療連携”を合い言葉に、周囲の医療機関との診療連携も大切にしています。そして、当院は2025年3月に久里浜への移転を予定しています。名称も「横須賀市立総合医療センター」へ変更となります。

- 【特色】**
- 救急車年間6,000台の豊富な救急症例数
 - 365日24時間体制の充実した小児医療
 - 専門科における高度専門医療に加え、重症度や臓器別にとらわれない総合診療への取り組み
 - 病診連携が確立している中での地域との密接な関わり合い
 - 米海軍病院との合同カンファレンスが開催される

【プログラムの特徴】

- 臨床研修センターを設置し、研修プログラムの調整や各診療科と研修医の連絡調整を行う。
- 診療科の枠をこえたメンター制度を導入し、研修生活の相談窓口としている。
- 「地域保健・医療」研修を3か月確保し、当公益社団法人に属する多彩な病院・施設・診療所で、生きた地域医療の研修を行う。
- 地域医療振興協会のネットワークを活かし、病院を超えた研修医の交流の場がある。

病院から皆さんへ：研修医の声

当院の研修の特徴はズバリ、「快適な横須賀の中心部で過ごしなが、適度な忙しさの中で患者さんと主体的に接し初期研修に必要な経験を十分に、かつバランスよく経験できること」だと考えます。私自身の経験で申しますと、例えば当院の救急外来(3次救急指定)では転倒などの軽症から交通外傷・急性大動脈解離・小児CPAまでの重症のほぼ全てのファーストタッチを主体的に行い、適度な忙しさの中で救急・総合診療科の上級医のフィードバックをその場で受けながら自身の初期対応能力を向上させることができます。

また、総合内科・ICUの研修では多職種と連携しながら内科疾患・術後の入院管理を幅広く学ぶことができ、手技の経験も豊富に積むことができます。そして慢性疾患の管理については3ヶ月の地域研修で毎日外来業務に携わりながら丁寧に学べます。生活についても当院は横須賀の中心に位置しており、車がない私でも快適に生活できる環境が整っており、オンオフをバランスよく分けて研修に取り組む環境が整っています。ぜひ当院を一度ご見学頂ければ、当院の魅力を肌で感じていただけると確信しています!



研修医の
主な出身大学

東北大学、福島県立医科大学、横浜市立大学、信州大学、北里大学、東京医科歯科大学、筑波大学、浜松医科大学、日本医科大学、佐賀大学、東海大学

応募先

〒238-8558
神奈川県横須賀市米が浜通 1-16

アクセス 京急線横須賀中央駅 徒歩 7分

TEL 046-822-2710 FAX 046-825-2103

URL <https://www.ykh.gr.jp/>

医師数

病院全体：220人

男性：159人

女性：61人

指導医数：63人

研修医数：32人(基：24人)

-1年目：12人(基：12人)

-2年目：12人(基：12人)

平均外来患者数	1652.8人/日	
平均入院患者数	53.2人/日	
病床数	一般：730床 精神：10床	
専門研修	有	
専攻医数	14人	
基幹プログラム	内科、外科、精神科	
給与	256,100円(1年目) 266,000円(2年目)	賞与 2回/年 (1ヶ月×2)
当直回数	月4回程度	
諸手当	時間外(当直含)・その他	
保育施設の有無	有/院外	

病院の概要・特色

当院は国家公務員共済組合連合会が運営する病院です。明治39年に開設されました。

平成16年3月に地域医療支援病院の承認を受け、横須賀・三浦半島を中心とする地域の医療機関との連携を強化しました。医療の継続性を確保し、地域の方々へ適切な医療を提供していくために、専門的な治療や急性期医療を担当することで地域医療の充実を図っています。

さらに、平成18年8月には、地域がん診療連携拠点病院の認定を受け、横須賀・三浦半島地区の各医療機関と連携して、がん診療の向上に力を注いでいます。

また、当地区の3次救急担当医療機関として救命救急センター(20床)を有し、専任スタッフを配備して3次救急受け入れ態勢を整えています。

【プログラムの特徴】

基本方針は、急性期医療を中心としたプライマリケア重視の研修です。内科・外科とも全日救急対応であるため豊富な症例を経験することができる当院は、プライマリケア能力の向上に最適の環境といえます。

必修診療科(内科24週、救急科12週、外科4週、産婦人科4週、小児科4週、精神科4週、地域医療4週)以外は自由に組み合わせることができます。日中は各科に配属され、入院患者の受け持ち医の1人として各科指導医の指導を受けつつ、診療に当たります。救急当直は、1-2次救急と3次救急を合わせて月に4回程度担当します。1-2次救急外来は、1年次と2年次の研修医がペアとなってファーストタッチを担い診療を行うため、自分で考える力が身につきます。常に上級医が待機しているので、困ったらずぐに相談し指導を受けることができます。3次救急外来は、当番の救急医と担当し、蘇生、集中治療を学びます。心臓マッサージや気管挿管を行い、ACLSを実践することができます。

病院から皆さんへ：研修医の声

当院は地域の中核病院で急性期治療を行うことができる設備が整った病院です。今回は当院の魅力のほんの一部を紹介させていただきます。少しでも興味を持って頂けたら、ぜひ一度見学に来てください。

- ①救急外来の症例数が多く、様々な疾患を経験出来る：横須賀市の救急患者の多くが搬送され、救急搬送台数は年間1万台に及びます。研修医はファーストタッチを行い、方針を考え、上級医に相談します。初めは不安ですが、SCU、CCU、産婦人科、小児科などほとんどの科の上級医が当直しており(実はこれは凄いことなのです)、どんな疾患であっても気軽に相談でき、メキメキと臨床力がつきます。
- ②上級医が指導熱心：外科系、内科系に関わらず、上級医はレクチャーを開催し、研修医が直面しやすい問題を教えてくださいます。カンファレンスも頻回に行い、患者の入院中の問題対応能力に加え、プレゼンテーション能力も鍛えられます。
- ③プライベートも充実している：救急外来は忙しいですが、基本的にon-offははっきりとしています。休みの日にはテニスやサイクリング、フットサルを楽しんだり、コロナ前であれば、近くにある米軍基地に行ったり、旅行をして英気を養っていました。



〒247-0056
神奈川県鎌倉市大船 6-2-24

アクセス JR横須賀線・京浜東北線 大船駅徒歩6分

TEL 0467-45-2111 FAX 0467-48-3197

URL <http://www.ofunachuohp.net>

応募先

医師数

病院全体：144人

男性：114人

女性：30人

指導医数：24人

研修医数：8人

-1年目：4人

-2年目：4人



研修医の
主な出身大学

聖マリアンナ医科大学、東海大学、高知大学、
北里大学、長崎大学

平均外来患者数	640.1人/日	
平均入院患者数	182.0人/日	
病床数	一般：285床	
専門研修	なし	
専攻医数		
基幹プログラム		
給与	月額 300,000円(1年目) 300,000円(2年目)	賞与 なし
当直回数	当直4回、日直1回程度 当直(平日) 20,000円 当直(土日祝) 23,000円 日直(日祝) 23,000円 日直(土) 11,500円	
諸手当	住宅手当・通勤手当	
保育施設の有無	なし	

病院の概要・特色

大船中央病院は285床の急性期病院で、大学病院と異なり、必要に応じて領域を超えた研修が可能です。社会医療法人として地域社会に貢献するため、救急医療を重視しています。救急部門と総合内科が若い研修医を育成する基盤と考え、中心的役割を担っています。

乳腺センター、消化器・IBDセンター・放射線治療センターでは全国レベルの診療を展開しており、毎年米国から内科指導医を招聘し、研修医教育にあたるなど、本場の臨床研修の魅力を注入していることも特徴の一つです。

【プログラムの特徴】

救急に対応できる能力を学習することから始まり、内科系と外科系のローテーションで、患者をよく診て診断と治療に至る臨床研修を受けます。医療面接と身体診察の手法、基礎的な内科系・外科系の知識の獲得といった基本臨床技能を習得します。

臨床の基礎ができれば内科系・外科系の各専門領域でのローテーションを組みます。講義形式の教育は避け、Bedside Learningを重視します。救急・産科・小児科・精神科の研修は協力施設へのローテーションにより提供されます。さらに近隣との病診連携を活かして地域医療の習得が可能です。

病院から皆さんへ：研修医の声

当院の研修の大きな特徴の一つが「Morning Report」です。週に3回開催される「Morning Report」は、研修医が実際に診療にあたった症例を使用し、検査ありきでなく、詳細な病歴聴取と身体診察をもとにした鑑別診断に至るまでの考え方を習慣として身につくまでトレーニングを繰り返します。基本的に全ての研修医と毎回数名の上級医が参加し、診療科や指導医の枠を超えたディスカッションの中で進められます。是非一度、見学にお越しください。



応募先

〒247-8533
神奈川県鎌倉市岡本 1370-1

アクセス JR 東海道線大船駅 徒歩 15 分

TEL 0467-46-1717 FAX 0467-45-0190

URL <https://recruit.skgh.jp/>

医師数

病院全体：305人

男性：228人

女性：77人

指導医数：67人

研修医数：43人

-1年目：23人

-2年目：20人

平均外来患者数	1749人/日	
平均入院患者数	593人/日	
病床数	一般：658床	
専門研修	有	
専攻医数	37人	
基幹プログラム	8領域	
給与	300,000円(1年目) 320,000円(2年目)	賞与 2回/年
当直回数	1回/週 4回まで/月 (時間外手当として支給)	
諸手当	住宅・家族・通勤・当直・時間外	
保育施設の有無	有/院内、病児	

研修医の
主な出身大学

旭川医科大学、東北大学、富山大学、山梨大学、東京医科大学、東邦大学、順天堂大学、埼玉医科大学、横浜市立大学、千葉大学、北里大学、滋賀医科大学、広島大学、愛媛大学、高知大学、産業医科大学、鹿児島大学、琉球大学

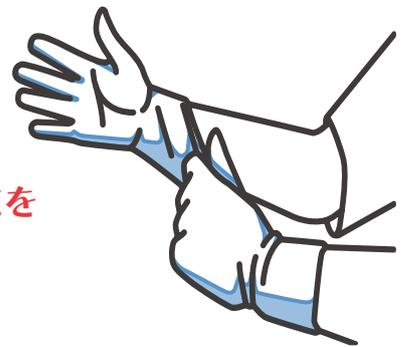
病院の概要・特色

当院は理念に掲げる「断らない医療」の実践教育の中で医療人としての姿勢や考え方、基礎知識を学ぶことができます。

初期研修2年間だけでなく、志望科・出身地や将来の意向など様々なバックグラウンドを総合的に評価し、地域医療へ貢献できる医療人の育成を目指しています。

【プログラムの特徴】

症例をあびて
病棟対応・手技を
体で覚える!



病院から皆さんへ：研修医の声

勉強会やレクチャーを通して学び症例を通して知識を深めていける
意外とバランスのいい病院です!

42 藤沢市民病院



研修医の主な出身大学

横浜市立大学、北里大学、信州大学、徳島大学、大阪大学、東北大学

〒251-8550 神奈川県藤沢市藤沢 2-6-1

応募先

アクセス

電車：小田急江ノ島線「藤沢本町駅」下車
徒歩10分
バス：JR東海道線「藤沢駅」北口 バス10分
※系統 藤08・藤10・藤13・藤45・藤51・藤58

TEL 0466-25-3111 FAX 0466-25-3545

URL <https://fujisawacity-hosp.jp>

医師数

病院全体：182人（常勤）

男性：129人

女性：53人

指導医数：30人

研修医数：26人

-1年目：13人

-2年目：13人

平均外来患者数	1295.9人/日
平均入院患者数	418.9人/日
病床数	536床
専門研修	有
専攻医数	12人
基幹プログラム	藤沢市民病院卒後臨床研修プログラム
給与	321,552円（地域手当込み・1年目） 340,112円（地域手当込み・2年目）
賞与	2回/年
当直回数	約1回/週 平均4回/月
諸手当	通勤・当直・時間外 等
保育施設の有無	有/院内保育

病院の概要・特色

当院は、1971年の開設以来、地域の基幹病院として高度医療・救急医療を担い発展してきた。2000年には、それまでの地域医療を支援してきた実績を認められて「地域医療支援病院」の承認を受け、地域医療機関との連携をより一層密接にしている。このほかに、地域がん診療連携拠点病院、がんゲノム医療連携病院、救命救急センター、周産期救急医療中核病院、災害医療拠点病院などの役割を担うとともに、日本内科学会、日本外科学会をはじめとする51学会の教育認定施設、臨床研修病院の認定を受け若手医師の育成にたずさわっている。このような数々の病院機能や、ともに病氣と闘う患者に対する医療提供が評価され、日本医療機能評価機構による機能評価認定を受けている。当院は公的病院として地域における役割を見すえながら「より親しまれ、より信頼される病院」を目指している。

【プログラムの特徴】

必修科目として内科を24週、救急科・麻酔科を各8週、外科、小児科、産婦人科、精神科を4週研修する。2年次に地域研修を行うとともに、保健研修として保健所または老人保健施設でも選択科目として研修を受けられるようになっている。

一般外来研修については、内科研修中の総合内科外来及び小児科の一般小児外来及び地域研修により4週以上の研修を行う。

選択科目は、必修科目の診療科の他、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、皮膚科、放射線診断科、放射線治療科、整形外科、脳神経外科、形成外科、病理診断科、臨床検査化についても選択可能となっている。

病院から皆さんへ：研修医の声

当院のプログラムの魅力は救急外来での研修と豊富な診療科にあります。湘南東部医療圏の中核病院として一次から三次救急まで担い、日夜様々な患者さんに巡り合います。当院から周辺の大病院に搬送するとなると小一時間要してしまうため、地域の最後の砦という矜持を持って診療をしています。ほぼ全ての症例を研修医がファーストタッチし、自ら診察や必要な検査を行います。研修医の裁量にまかされている部分が多くあり、自分で考えて対処する力を養うには絶好の環境です。4月の頭からお試し当直が始まり、最初は右も左もわからない状態になりますが、2年目の研修医の自らの体験に基づいたアドバイスや救急科の先生の指導を受けて現場でメキメキと力をつけていきます。研修医に任されている

部分が多いながらも、全例救急科スタッフが目を通しており、必要に応じて専門科の先生に相談することができます。また、当院には市中病院でありながら様々な診療科を持ち合わせているため、進路が絞られにくい人や所謂マイナー科に興味がある人にもおすすめのプログラムです。

救急外来研修や救急当直は忙しく大変な時もありますが、当直が入らない限り土日は原則休みであるためメリハリのついた研修生活を過ごせます。少しでも興味を持った方はぜひ一度当院まで足を運んでいただき、私たちの研修を体感してもらいたと思います。皆さんとお会いできることを楽しみにしています。



研修医の主な出身大学

研修医の出身大学は全国です

札幌医科大学、旭川医科大学、弘前大学、秋田大学、山形大学、福島県立医科大学、獨協医科大学、群馬大学、東京医科大学、東京医科歯科大学、東邦大学、帝京大学、日本大学、日本医科大学、昭和大学、北里大学、聖マリアンナ医科大学、横浜市立大学、東海大学、埼玉医科大学、浜松医科大学、山梨大学、信州大学、岐阜大学、三重大学、大阪市立大学、大阪医科大学、金沢大学、金沢医科大学、富山大学、広島大学、山口大学、鳥取大学、香川大学、徳島大学、高知大学、愛媛大学、産業医科大学、九州大学、久留米大学、佐賀大学、長崎大学、熊本大学、宮崎大学、鹿児島大学、琉球大学、国立センメルウィス大学

応募先

〒252-0802
神奈川県藤沢市高倉 2345

アクセス 小田急江ノ島線長後駅 徒歩 8 分

TEL 0466-44-1451 FAX 0466-44-6771

URL <http://www.fj-shonandai.jp/>

医師数

病院全体：78人

男性：55人

女性：23人

指導医数：15人

研修医数：12人

- 1年目：8人(たすき2名)

- 2年目：8人(たすき2名)

病院の概要・特色

当院は藤沢市北部に位置しております。

高度な専門医療や救急患者に対応する急性期病棟をはじめ回復期リハビリテーション病棟、療養病棟、緩和ケア病棟と様々な機能を有しています。急性期から慢性期の状態まで、高い医療水準をもって一つの病院で対応することができる医療施設です。またスポーツ選手を専門的に診る健康スポーツ部を整形外科の中に、AELICセンター(大腸肛門病センター)を外科の一部に包括して専門性を特徴としています。

先進医療分野におきましては、AI技術を活用した内視鏡画像診断研究を東京大学と連携して行っております。また令和元年5月には手術支援ロボットを導入し泌尿器科、外科を中心に低侵襲で正確性の高い手術を目指しています。

病院から皆さんへ：研修医の声

救急科はファーストタッチから問診、全身診察、治療計画立案して上級医に相談をする事を基本とし、救急カンファレンスで症例発表を繰り返すことで重症、中等症の症例に対して整理をさせてます。初期研修修了後は緊急性の高い疾患の見落としをしない、また地域医療でよく見られる症例に対して適切な処置ができるよう自分で考え行動できることを目標としています。

雰囲気だけでなく、実際の現場はどうかというと非常に手技を

【プログラムの特徴】

広大な敷地の中に病院、介護老人保健施設、訪問看護ステーション、居宅介護支援センター、健康増進施設を有し、人間の各ライフステージ別の実態が把握できる。駅前に健診施設があり患者、職員健康管理においても学習できる。

研修指導は、指導医1名に対し研修医1名のマンツーマンとする。

藤沢市民病院、横浜医療センター、藤沢病院で必修の小児科・産婦人科、精神科や登録してある選択科についても数週間の研修が可能です。

2020年度より地域で活躍する医師を育成する藤沢湘南台病院総合診療専門医プログラムを作りました。また当院は横浜市立大学、聖マリアンナ医科大学、北里大学およびその関連病院と医師3年目からの専攻医プログラムを組んでおり、研修医の早い段階から興味のある診療科への見学を推奨しております。

する機会に恵まれていると思います。大学でみるような難しい病気の人こそ出会う機会は少ないですが、多くの人が罹患し苦しむ病気と数多く対面する事になります。特に救急科での研修は、自分が主治医となり治療を先導して行きます。輸液から食事、退院先のことまで見据えて一連の治療の流れを若いうちから真近で感じる事ができるのは、非常に良い経験になると思います。

(研修医より)



研修医の 主な出身大学

旭川医科大学、北海道大学、札幌医科大学、弘前大学、岩手医科大学、東北大学、秋田大学、筑波大学、獨協医科大学、群馬大学、日本大学、東京大学、順天堂大学、東京女子医科大学、東邦大学、聖マリアンナ医科大学、埼玉医科大学、横浜市立大学、富山大学、金沢大学、信州大学、福井大学、岐阜大学、浜松医科大学、名古屋大学、三重大学、滋賀医科大学、京都府立医科大学、大阪大学、関西医科大学、奈良県立医科大学、香川大学、神戸大学、鳥取大学、島根大学、岡山大学、産業医科大学、熊本大学、大分大学、宮崎大学、鹿児島大学、琉球大学、ブラハ・カレル大学、センメルweis大学

応募先

〒251-0041

神奈川県藤沢市辻堂神台 1-5-1

アクセス 東海道線辻堂駅 徒歩 5 分

TEL 0466-35-1177

URL <https://shonan-doctor.jp/junior/>

医師数

病院全体：150人

男性：120人

女性：30人

研修医数：30人

-1年目：15人

-2年目：15人

平均外来患者数	1,000人/日
平均入院患者数	35～40人/日
病床数	一般：419床 療養：0床
専門研修	有
専攻医数	17人
基幹プログラム	内科、総合診療科、麻酔科
給与	570,000円(1年目) 650,000円(2年目) 賞与 2回/年(6ヶ月)
当直回数	1回/週・平均4回/月 1年次：25,000円/回 2年次：30,000円/回
諸手当	住宅・家族・通勤・当直・時間外
保育施設の有無	有/敷地内に併設

病院の概要・特色

湘南藤沢徳洲会病院は、優れた臨床医を育成して、地域医療および地域の福祉に貢献することを目的とする。さらに、臨床研修医の指導者を育成することも目指す。

救急総合診療部門での研修を充実させ、選択ローテーションは、基幹7科を中心に選択するとし、細切れになるのを避ける。選択科は個人の希望を尊重するが、初期研修にふさわしい研修内容を最優先とする。(ローテーションは、あくまでも医師としての基本的臨床能力を身に付ける目的で選択されるべきであり、将来の専門科を選択する際の参考にするものではないことを認識する。)

患者さん中心の医療を行うこととし、徹底して臨床の現場での研修を行なう。また、最新の医学的知識に基づき、最良の医療技術を提供できるよう常に研鑽する。生涯にわたる自己学習ができる基礎的技術を習得する。医療安全には細心の注意を払い、患者さんに害が及ばないようにする。

病院から皆さんへ：研修医の声

『一度きりの人生で飛び込むなら今しかない』そんな気持ちでこの病院を選びました。

学生の頃初めて当院のERを見学した時、その余りの躍動感に惹きつけられました。絶え間なく鳴り響く救急車の音、ただの風邪の影に隠れてwalk-inでやってくる重症患者の数々。(落ち着いている日もありますが)その中で1番輝いていたのは紛れもない、初期研修医1,2年目の先輩方でした。主体的に行動し患者さんへアセスメントしていく姿に憧れ、その1年後、気づくとこの病院で医者としての第一歩を踏み出していました。

フジトクのハードな研修に忙殺される日々ですが、その分上級医、スタッフや患者様から多くの学びを得ることができます。総長の言葉をお借りすると、当院での研修は多くの症例のシャワーを浴びることで自分を磨くことができます。シャワーを浴びた後に残るのは、生まれ変わった自分です。一緒にこの世界に飛び込んでみませんか？

(初期臨床研修医・早川 北海道大学)

45 茅ヶ崎市立病院



研修医の 主な出身大学

横浜市立大学、信州大学、弘前大学、秋田大学、熊本大学、浜松医科大学、北里大学、東海大学、産業医科大学など

応募先

〒253-0042
神奈川県茅ヶ崎市本村 5-15-1

アクセス JR 相模線北茅ヶ崎駅 徒歩 10 分

TEL 0467-52-1111 **FAX** 0467-54-0770

URL <https://hosp.city.chigasaki.kanagawa.jp/>

医師数

病院全体：106 人

男性：74 人

女性：32 人

指導医数：68 人

研修医数：15 人

(たすきがけ研修医 5 名含む)

-1 年目：8 人

-2 年目：7 人

平均外来患者数	約 800 人/日	
平均入院患者数	約 260 人/日	
病床数	一般：401 床 療養：0 床	
専門研修	有	
専攻医数	11 人	
基幹プログラム	内科	
給与	約 440 万円 (1 年目) 約 500 万円 (2 年目)	賞与 2 回/年 (2.4 ヶ月)
当直回数	約 1 回/週 平均 4 回/月 (21,000 円/1 回)	
諸手当	当直・時間外・休日	
保育施設の有無	有/院内	

病院の概要・特色

診療体制は 28 科で、地域の中核病院として他の医療機関と連携しつつ地域医療の向上に努め、救急医療の充実を図り、主に急性期医療を担っている。

2019 年に別棟新設 (医局リニューアル)、2021 年に内視鏡センター、2022 年に外来化学療法室を開設した。

2023 年度には、放射線治療機器リニアックの更新と手術支援ロボットの導入を予定しており、今後も成長する病院として、病院機能・施設の充実と安心・安全な医療の向上に努めている。

また、湘南の海・富士山が見渡せる穏やかな気候の下にある当院での研修の良い点は、病院がきれいな点、コメディカルとの関係のよさ、病院全体で研修医を育てようとする雰囲気があることである。

【プログラムの特徴】

地域の中核病院として様々な患者が来院しており、様々な疾患の診断や治療を体験できる。主な特徴は次のとおりである。プライマリ・ケア研修を充実させるため、内科研修は 1 年次に消化器内科、代謝内分泌内科、脳神経内科、循環器内科、呼吸器内科、腎臓内科、リウマチ膠原病内科を 2～3 科 8 週ずつ集中して研修する。さらに 1 年次に小児科、麻酔科、整形外科を、2 年次に外科、産婦人科、精神科、地域医療等を研修する。選択診療科は、選択の自由度が大きく、本人の希望や進路を考慮して 1 年次からローテーション可能とした。当直を内科系・外科系・産婦人科・小児科で行っており、小児救急にも配慮したプライマリ・ケア研修としている。2 年間を通して、救急医療部での診療の参加及び休日夜間の夜勤・宿日直により、救急医療研修を行う。

病院から皆さんへ：研修医の声

診療科・医師が多く、医局内の交流も盛んで気軽にコンサルトができます。研修医を直接指導する医師も若く、最新のより専門的な知識を吸収することができます。研修医向けの勉強会のほか、院内向け講演会も随時開催されています。BLS (AHA)、ICLS (救急医学会)、緩和ケア研修会も院内で受講することができます。当地は東海道線 1 本で横浜まで 30 分、東京まで 1 時間の便利な地方都市です。「一生に一度は住みたい湘南」と呼ばれる海を望む温暖な地で、医者としての第一歩を踏み出しましょう。



研修医の 主な出身大学

東海大学、北里大学、浜松医科大学、日本医科大学、福岡大学、帝京大学、杏林大学、横浜市立大学、旭川医科大学、東邦大学、慶應義塾大学他

応募先

〒253-0083
神奈川県茅ヶ崎市西久保 500

アクセス JR東海道線茅ヶ崎駅
シャトルバス 20分

TEL 0467-83-9111 FAX 0467-83-9114

URL <https://fg-sthp.jp/>

医師数

病院全体：104人

男性：89人

女性：15人
(非常勤含む)

指導医数：17人

研修医数：6人

-1年目：3人

-2年目：3人

平均外来患者数	683人/日	
平均入院患者数	317人/日	
病床数	一般：243床 療養：40床 精神：44床	
専門研修	有	
専攻医数	2人	
基幹プログラム	内科	
給与	430万円(1年目) 500万円(2年目)	賞与 なし
当直回数	なし	
諸手当	単身寮入寮時補助有 通勤・医療費減免	
保育施設の有無	有/院外	

病院の概要・特色

当院は、湘南東部医療圏の中核病院として、またふれあいグループの基幹病院として急性期医療を中心に回復期リハビリテーションからホスピス緩和ケアまで総合的に幅広く医療を提供しております。

地域医療では二次救急を担当し、心疾患・脳血管障害にも24時間対応。

化学療法・放射線療法・手術療法を組み合わせ患者さんの希望に応じた治療を行っております。

臨床研修の理念・方針

1. 日常で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるように、プライマリ・ケアや救急医療の基本的な診療能力(態度知識・技能)を習得する。
2. 患者の全人的理解の上に立つ診療、良好な患者(家族)・医師関係の確立、インフォームド・コンセントの実施などの重要性を十分に認識する。
3. 医療の社会性、経済性を理解し、地域における保健・予防・福祉・教育活動及びチーム医療の必要性を認識する。

【プログラムの特徴】

基本研修科目は内科24週、外科8週、小児科8週、産婦人科8週、精神科8週、救急科12週(麻醉科4週含む)および地域医療8週。

他にリハビリテーション科を4週加えていることが特徴である。一般外来研修においては地域医療で並行研修として行う。

選択科目：内科、循環器科、消化器内科、腎臓内科、呼吸器内科、血液内科、糖尿病内科、脳神経内科、外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、放射線科、麻醉科、精神科、救急科、小児科、産婦人科、リハビリテーション科、眼科、耳鼻咽喉科より選択できる。(状況により選択不可の場合もあり)

選択科目の眼科、耳鼻咽喉科は連携施設で実施し臨床研修の大部分は基幹施設で実施する。

病院から皆さんへ：研修医の声

湘南東部総合病院では研修医でも良い意味で1人の医師として扱われます。

普段から自ら患者さんと向き合う場が多くあり自分で考え、行動に責任を持って動く意識が必要です。自身の判断をもとにオーダーを行うことの積み重ねによって、様々な症例に自分で対処できるようになりました。

消化器外科ではオペの助手として数多く参加、積極的に手技を経験できることは恵まれています。

指導医の先生を独り占めできるため多彩な症例を経験できるメリットもあります。

自分のやる気次第で圧倒的な学びが出来る環境です。

47 平塚市民病院



研修医の 主な出身大学

秋田大学、東北大学、信州大学、新潟大学、
埼玉医科大学、帝京大学、慶應義塾大学、
順天堂大学、北里大学、横浜市立大学、
東邦大学、東海大学、聖マリアンナ医科大学、浜松医科大学、
島根大学等 ～全国の大学から集まっています！～

応募先

〒254-0065
神奈川県平塚市南原1丁目19-1

アクセス

JR東海道線 平塚駅北口からバスで15分
「市民病院」前下車徒歩0分

TEL 0463-32-0015 FAX 0463-31-2847

URL <https://www.hiratsuka-city-hospital.jp/>

医師数

病院全体：101人

男性：79人

女性：22人

指導医数：29人

研修医数：23人

-1年目：12人

-2年目：11人

平均外来患者数	739人/日
平均入院患者数	303人/日
病床数	一般：410床 感染：6床
専門研修	有
専攻医数	なし
基幹プログラム	内科、外科、救急科
給与	341,129円(1年目) 賞与 2回/年 359,419円(2年目)
当直回数	平均4回/月 (18,000円/1回)
諸手当	通勤・宿日直等
保育施設の有無	有/院内

病院の概要・特色

平塚市民病院は、気候が温暖で居住環境に抜群な湘南地域に位置する地域密着型の自治体病院(急性期：3次救急)で、明るくきれいな環境で研修することができます。

救命救急センターに指定されており、年間救急患者搬送車数は9,000件以上となっています。

“一人ひとりを丁寧に育てます”という基本方針のもと、設備や経験症例数等においても充実した教育環境を提供することが可能です。

【プログラムの特徴】

当院のプログラムの特徴は、研修医の個性や希望に応じた、きめ細やかでフレキシブルなローテーションスケジュールにあります。

内科24週、外科12週(4週は外科選択)、救急科12週、小児科、産婦人科、地域医療、精神科、麻酔科4週の必修診療科のほか、選択科目を36週間と長くとり、進路科コースとして最後の32週間を特定の科で集中して研修することも可能です。

	1-4週	5-8週	9-12週	13-16週	17-20週	21-24週	25-28週	29-32週	33-36週	37-40週	41-44週	45-48週	49-52週
1年次	内科(腎内、糖内)		内科(消内)	内科(循内)	内科(神内)	内科(呼内)	外科1		救急科		麻酔科	選択	
	一般外来(内科)					一般外来(内科)							
2年次	地域医療	外科2	小児科	産婦人科	精神科	選択	選択	選択	選択	選択	選択	選択	選択
			一般外来(小児)			進路科 32週							

病院から皆さんへ：研修医の声

- ①“病院の雰囲気が良い”上の先生やコメディカルの方も優しく、困ったことがあれば質問しやすい環境です。同期は様々な大学から集まっており、バランスも良く、和気あいあいとした雰囲気です。
- ②“救急が充実している”症例数が多く、common diseaseを中心に様々な疾患を診ることができます。救急外来では研修医がファーストタッチで、上の先生からも充実したフィードバックを頂けます。
- ③“手技を豊富に経験できる”救急外来ではもちろん、日々の診療においてもCV挿入や腹腔穿刺など様々な手技を経験させて頂いています。手技を行うために自分自身でも勉強しなければならないのはもちろんですが、上級医の先生からも丁寧に指導して頂けるため日々成長を実感できます。
- ④“週に1度のクルズと研修医抄読会”自分で勉強することも大切ですが、クルズで直接先生から指導を受けたり、抄読会で発表や質問の仕方を学んだりすることができます。



〒254-0824 神奈川県平塚市追分 9-11

応募先

アクセス JR 東海道線平塚駅より バス 10分
小田急線伊勢原駅より バス 25分

TEL 0463-32-1950 FAX 0463-31-1865

URL <https://hrt.kkr.or.jp/rinshokenshu/>

医師数

病院全体：118人

男性：89人

女性：29人

指導医数：71人

研修医数：18人

-1年目：11人

-2年目：7人

研修医の
主な出身大学

新潟大学、弘前大学、東海大学、千葉大学、
北里大学、東京医科歯科大学、信州大学、
山形大学、山梨大学、九州大学、産業医科
大学、岩手医科大学、福島県立医科大学、愛知医科大学

平均外来患者数	827人/日	
平均入院患者数	302人/日	
病床数	一般：441床	
専門研修	有	
専攻医数	3人	
基幹プログラム	内科	
給与	30万円(1年目) 35万円(2年目)	賞与 有
当直回数	1回/週 平均4回/月 (1万円/1回)	
諸手当	住宅(賃貸契約者のみ)・当直	
保育施設の有無	有/院内	

病院の概要・特色

当院は、救急センター、循環器科と心臓血管外科が共同運営する心臓センターおよび脳神経内科と脳神経外科が共同運営する脳卒中センターを設け、24時間体制で対応しています。

救急センターは、平塚市における当院の急性期病院としての役割である救急医療体制を担うために設立され、従来の救急外来だけでなく、緊急入院時の病床も備えて、年間約5,000件の救急車を受け入れ、全診療科を挙げて地域救急医療業務に取り組んでいます。

地域に密着した救急病院として急性期疾患に対応した地域医療に貢献し続けるように、救急医療の充実に努めています。

【プログラムの特徴】

Point 1. 少人数研修

※ 研修医は2学年で20名弱のため、経験できる症例・手技が多く、きめ細やかな指導が受けられます。

Point 2. 臨床経験豊富な指導医

※ 内科系・外科系ともに多くの専門医がおり、指導医として研修医をサポートします。

Point 3. 数多くの症例を体験

※ 初期研修には十分な救急症例を経験できます。

Point 4. 救急センター

※ 軽症から重症まで様々な患者さんを全てfirst touchで診察します。様々な病態の患者さんの問診・身体所見を取り、鑑別を考えて必要な検査や処置・処方をしていくという作業を繰り返します。

Point 5. 研修医カンファレンス

※ 救急センターで経験した症例を、研修医が主催する救急カンファレンスで発表し、プレゼン能力を養います。カンファレンスの内容は研修医で情報を共有し、上級医からのフィードバックを受けることができます。

病院から皆さんへ：研修医の声

当院では、各学年基幹型5名に加え、東京医科歯科大学・横浜市立大学・北里大学のたすきがけ研修医を含め合計約20名で日々楽しく研修をさせていただいています。

出身大学は全国各地の国公立・私立と多様性があり、大学病院を知るたすきがけの研修医もいるためお互いを高め合いながら研鑽を積むことができると思います。院内宿舎や研修医室や職員食堂などの設備も充実しており、研修に集中することができるためとても満足しています。

救急外来では研修医がファーストタッチをする機会が多く、自ら体を動かして学ばせていただいております。

湘南の温暖な気候にも恵まれ、海が近いのでマリンスポーツができて、野球やバスケ、サッカー、ゴルフ等の部活動も多職種が一緒になり盛んに活動しているので、仕事で疲れた日もリフレッシュすることができます。

当院に少しでも興味をもたれた方は、ぜひ一度見学にいらしてください。研修医一同、歓迎いたします。



研修医の 主な出身大学

【国公立大学】北海道大学、旭川医科大学、弘前大学、山形大学、東北大学、福島県立医科大学、富山大学、福井大学、横浜市立大学、山梨大学、信州大学、岡山大学、鳥取大学、島根大学、愛媛大学、高知大学、香川大学、大分大学、宮崎大学、鹿児島大学、琉球大学など

【私立大学】岩手医科大学、獨協医科大学、埼玉医科大学、東京医科大学、東京女子医科大学、日本大学、東邦大学、杏林大学、北里大学、昭和大学、聖マリアンナ医科大学、金沢医科大学、愛知医科大学、藤田医科大学、川崎医科大学、福岡大学、慶応義塾大学など

応募先

〒259-1193 神奈川県伊勢原市下糟屋 143

アクセス 小田急小田原線 伊勢原駅下車バス約10分

TEL 0463-93-1121 (内線: 2028)

FAX 0463-94-8826

URL <https://www.fuzoku-hosp.tokai.ac.jp/rinsho/>

医師数

病院全体: 368人

男性: 286人

女性: 82人

指導医数: 241人

研修医数: 95人

-1年目: 46人

-2年目: 49人

平均外来患者数	2,243人/日
平均入院患者数	736人/日
ドクターヘリ出動回数	約180回/年
病床数	一般: 804床
専門研修	有
専攻医数	120人
基幹プログラム	19基本領域全て
給与 (基本給/1・2年)	283,000円
当直回数	日直1回・宿直3回 (8,000円/1回)
諸手当	通勤、宿日直、特別繁忙、その他 給与規程による
保育施設の有無	有/院内保育所

病院の概要・特色

当院は神奈川県西部地域での唯一の大学病院、特定機能病院として静岡・山梨両県の一部を含む200万人とも言われる医療人口を持つ医療圏の地域医療に寄与しています。また、高度救命救急センターを併設し、総合周産期母子医療センターや造血幹細胞移植推進地域拠点病院、地域がん診療連携拠点病院として専門的で最先端の高度医療を提供すると共に、地域の中核病院としてCommonDiseaseな診療も多く、幅広い研修環境を用意しています。

なお、当院以外での研修先として東京・大磯・八王子の各付属病院と県内外の特色ある市中病院を協力型病院として、近隣のクリニックを協力型施設として連携し、患者さんを全人的にケアする研修を実践しています。

さらに、当院は臨床研修修了後に行なわれる専門研修の19基本領域全ての基幹施設となっており、専門医取得を目指し一貫した研修が受けられます。

病院から皆さんへ：研修医の声

他大学出身の臨床研修医1年です。

大学を卒業後、出身地である神奈川県で研修しようと、県内の大学病院をいくつか見学しました。見学時に重視したのは、他大学出身でも3年目以降も充実して働いていけるか、ロールモデルとなる先生がいるかということ。その点、当院の先生のイキイキと活躍する姿が一番印象に残り、研修先の第一希望に決めました。

将来は内科系を希望していますが、診療科まで決めていない私には、基本研修プログラムは選択科目と必須科目のバランスが良く、幅広い診療科で実践を重ねることが出来て最適です。必須科目でなければ回ら

【プログラムの特徴】

【基本研修プログラム】大学病院で幅広い診療科を研修でき、数多くある地域の中核病院でも研修が可能です。選択期間も長く、豊富な研修科から選択できるため、自分に合った研修が行えます。

【地域医療研修プログラム】大学病院で幅広い研修を行いつつ、諏訪中央病院をはじめとする特色のある地域の市中病院で、8~12週の研修を行います。人気の高いプログラムです。

【周産期研修プログラム】

小児科、産婦人科以外を研修中も4週毎に6回、いずれか将来希望する科のカンファレンスに参加します。小児科と産婦人科を各4週、さらにいずれかを4週研修することで大学病院と市中病院の両方で研修が可能となる小児科医、産婦人科医を目指す方に向けたプログラムです。

【地域医療重点研修プログラム】

石巻赤十字病院、諏訪中央病院、大船中央病院、けいゆう病院で大学病院とは異なる診療科の枠を超えた研修をじっくり実践でき、振り返りを重ねて医師としての思考や洞察力が身につきます。大学病院と市中病院の両方を研修したい方に最適なプログラムです。

なかった一般外科で、術前後の内科的管理や疼痛コントロール、簡単な縫合など、内科医にも必要な基礎的スキルをここで身につけられたことは大きな収穫です。他科でも手技の機会があると、事前指導やバックアップ態勢を整えた上で、「やってみなさい」と積極的な声かけがあり、経験を重ねることが出来ます。

2年目は内科系を多く回る予定ですが、どの診療科も熱意があって楽しい先生ばかり。臨床研修医、上級医、指導医がイキイキと働いている現場を確かめに、ぜひ見学にいらしてください。



**研修医の
主な出身大学**

東海大学出身者の在籍率は比較的高いが、学校に偏りはなく全国各地からの採用実績となっている。

応募先

〒259-1187
神奈川県伊勢原市田中 345

アクセス 小田急線伊勢原駅 徒歩 15分

TEL 0463-94-2111 **FAX** 0463-96-1759

URL <http://www.iseharahp.com/kensyui/>

医師数

病院全体： 74人

男性： 61人

女性： 13人

指導医数： 47人

研修医数： 8人

-1年目： 4人

-2年目： 4人

平均外来患者数	749.0人/日
平均入院患者数	274.0人/日
病床数	一般：291床 回復期：45床 緩和：14床
専門研修	なし
専攻医数	2人
基幹プログラム	協力型のみ
給与	月額 300,000円(1年目) 350,000円(2年目)
賞与	1年目：夏季100,000円(税込) 年末500,000円(税込) 2年目：夏季250,000円(税込) 年末800,000円(税込)
当直回数	1回/週 平均4回/月 (1年目5,000円/1回)(2年目8,000円/1回)
諸手当	住宅・家族・通勤・当直・時間外
保育施設の有無	有/院内保育所、病児、病後児

病院の概要・特色

当院は昭和43年に設立され、湘南西部医療圏の中核病院として成長してきました。医療の高度化および療養環境向上のため、平成26年8月に新築移転し、病床数350床、29診療科の病院となりました。手術室6室、HCU6床、外来化学療法センター、血液浄化センター、緩和ケア病棟、回復期リハビリ病棟などを備えています。

診療体制としては特に医師のマンパワーにも恵まれている消化器系疾患、小児・周産期医療、整形外科を中心に最新かつ大学病院にも引けを取らない専門的な治療を実施しています。

地域の市民病院的な役割も担い、内科・外科系・小児科24時間365日二次救急体制のもと、豊富な症例を経験することができます。

【プログラムの特徴】

Man to man 研修医に指導医がいつもついているように

At the front 研修医の能力に応じて
最前線の現場にどんどん出させる

Tailormade 研修医の適正・意欲に応じて
独自の研修をしてもらう

研修医がきめ細かい研修を受けることができるよう、病院規模に対し少人数の研修医を受け入れています。また基幹型(当院)に加え協力型(慶應大など)の研修医も在籍している為、異なった背景を持つ研修医が混ざり合い、刺激のある研修環境を経験できます。

必修科だけでなく、その他選択科目のマイナー科目も充実しております。地域医療では離島での研修や近隣の開業医でのプライマリーケアを選択できます。

病院から皆さんへ：研修医の声

病院規模にしては一学年4~5人と少人数なので、外科系OPEや内科系の検査などの手技を研修医同士で取り合うことなく、指導医・上級医の指導の下、惜しみなく経験することができます。また少人数のため、ローテーションでは原則各科1人しか研修医がいないので、指導医との距離感が近く、疑問点などをすぐに確認することができる環境です。

比較的自由度が高い病院風土のため、とことんやりたい人はその要望に指導医は応えてくれますし、自分のペースでやりたい人も自分の自習時間をしっかり取れる余裕もあります。

要は「自分次第」でどちらの方向にも進める環境です。

ぜひ興味のある方は病院見学からでも検討してみたいかがでしょうか。



研修医の 主な出身大学

東海大学、宮崎大学、富山大学、愛媛大学、長崎大学、聖マリアンナ医科大学、北里大学、産業医科大学、大分大学、福島県立医科大学、東京女子医科大学、藤田医科大学、京都大学、福井大学、山梨大学、岩手医科大学、弘前大学、高知大学、九州大学、帝京大学、東京医科大学、島根大学等

応募先

〒243-8571
神奈川県厚木市船子 232

アクセス

小田急線本厚木駅徒歩 20 分
愛甲石田駅徒歩 15 分
本厚木駅より無料送迎バスあり

TEL 046-229-1771 FAX 046-228-0396

URL <http://www.tomei.or.jp/hospital/>

医師数

病院全体： 56 人

男性： 46 人

女性： 10 人

指導医数： 28 人

研修医数： 10 人

-1 年目： 5 人

-2 年目： 5 人

病院の概要・特色

当院は昭和56年開設当初より、地域の皆さまに喜んで頂ける医療を目指してきました。救急体制においては、救急車の搬入に関してお断りをしない方針で、厚木市内の救急搬送の半数以上(年間約5,000台)を受け入れ、海老名、綾瀬、大和市など近隣の救急も受け入れています。また病院の質的向上を目指し、日本医療機能評価機構や卒後臨床研修評価機構、地域医療支援病院の認定など、地域の求めるものに素早く対応すべく病院整備を行ってきました。現在は、がん診療への対策として、放射線治療、外来化学療法、緩和ケア病棟の開設など、がん診療連携指定病院の取得に向けて医療向上に取り組んでいます。

医療は医師のみでできる事ではありません。看護師、薬剤師、放射線技師、臨床検査技師、臨床工学士、栄養士、理学・作業療法士、医師事務作業補助者、病院事務担当など、チームで連携して取り組み、病院がワンチームとなり、少しでも質の高い医療を目指しています。

【プログラムの特徴】

急性期医療と保健予防活動・プライマリ・ケアを基本とし、総合的臨床能力を有する医師の育成を目的としています。2年間の初期臨床研修プログラムは総合診療方式(スーパーローテーション方式)により内科・救急科・麻酔科・外科・脳神経外科・産婦人科・小児科・精神科・地域医療の各科ローテーションを必須とし、かつ救急当直を並行し、救急医療からプライマリ・ケアを主とした研修をベースに問診・初期診断・初期治療の実際から適切な判断能力を身につけられるようにしています。

年次	1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週	49~52週
1年次	内科研修24週 (循環器、腎・代謝、消化器、呼吸器)						救急12週 (うち麻酔科4週)			外科8週	脳外4週	精神4週	
2年次	地域4週 一般外来	産科4週	小児4週	選択40週 (内・脳・外・整・形・麻・泌・救・放 等)									

病院から皆さんへ：研修医の声

皆さんは2年間の研修を行う上で何を重視しますか？

当院の強みは小規模病院ゆえの各スタッフとの垣根の低さにあります。わからないことを他職種関係なく相談できることが良いところだと思います。研修医はどの科でもチームの一員として数々の手技をやらせてもらえるため、スキルアップを目指すにはとても良い病院だと思います。当直でもファーストタッチは研修医が担当し、最初は不慣れで困ることも多々ありますが、必ず上級医がサポートしてくれるため、とても勉強になります。1年経つ頃には1年目の最初の頃に

は想像もできなかったくらい自信をもって当直に入ることができるようになります。

雰囲気は実際に見ていただくのが一番だと思います。この記事を読んで当院へ興味を持っていただいた方は是非一度見学に来ていただき、研修医が実際に何をしているのか見るのはもちろん、雰囲気も感じていただければと思います。ぜひ、東名厚木病院で研修をして一緒に一人前の医師を目指しましょう！



〒243-8551

神奈川県厚木市温水 118-1

応募先

アクセス 小田急小田原線本厚木駅 徒歩 15 分

TEL 046-223-3636 FAX 046-223-3630

URL <http://www.shonan-atsugi.jp/>

医師数

病院全体： 29 人

男性： 26 人

女性： 3 人

指導医数： 11 人

研修医数： 8 人

-1 年目： 4 人

-2 年目： 4 人

研修医の
主な出身大学東海大学、産業医科大学、山形大学、
島根大学ほか

平均外来患者数	360.3 人/日
平均入院患者数	164.4 人/日
病床数	一般：253 床 療養：0 床
専門研修	有
専攻医数	0 人
基幹プログラム	総合診療科
給与	1 年次：基本手当 300,000 円 / 月 2 年次：基本手当 320,000 円 / 月
賞与	1 年次：400,000 円 / 年 2 年次：640,000 円 / 年
当直回数	1 ~ 2 回 / 週 平均 6 回 / 月 (1 年次 2.5 万、2 年次 3 万 / 1 回)
諸手当	住宅・家族・通勤・当直
保育施設の有無	有 / 院内

病院の概要・特色

「患者様を断らない」をモットーに、1次～3次救急まで24時間365日、救急・時間外診療を行っており、地域の中核病院としての役割を担っています。また、訪問診療など地域に密着した医療や治験を中心とした未来医療への取り組みを行っています。

【プログラムの特徴】

湘南厚木病院「断らない医師」育成・研修プログラム

Primary CareとEmergency Careをしっかりと身につけ、多くの症例を経験することにより、諸種のケースに対し迅速かつ適切な初期治療そして専門科へのコンサルテーションを行える総合臨床能力を養う。

病院から皆さんへ：研修医の声

初めて見学した時の印象は、研修医が戦力として生き生きと働いているということでした。そして自分もそうなりたいと思うのと同時にそうなることができる環境が整っていると思ったのがこの病院を選んだ1番の理由です。

というのも指導医の先生方が教育熱心で勉強会が毎日開かれ、また空き時間はエコーや画像の読み方などを個人的に教えてもらうことも出来ます。そして学んだことを生かす実践の場も多く設けられています。救急では研修医がファーストタッチし問診、身体所見を取り検査や治療の方針を立てます。そして待機している上級医の先生に報告、相談をします。屋根瓦式だけではなく直接指導医の先生に指導していただけるのが湘南厚木の1番のポイントです。以上のようにインプットしたものをアウトプットする機会をいただき、さらにそれに対して指導医からフィードバックをいただくことで成長できる環境が整っていると思います。

また、選択期間は同じ徳洲会系列の病院に行くことが出来ることも魅力の1つです。

ぜひ1度病院見学に来ていただき湘南厚木病院の魅力を感じに来てください。

東海大学卒・2022年度修了生



研修医の
主な出身大学

東京慈恵会医科大学、東海大学、日本大学、群馬大学、産業医科大学、福島県立医科大学、北里大学、横浜市立大学ほか(過去の採用実績から)

応募先

〒243-8588
神奈川県厚木市水引一丁目 16 番 36 号

アクセス 小田急線本厚木駅 徒歩 15 分

TEL 046-221-1570 FAX 046-222-7836

URL <https://www.atsugicity-hp.jp/>

医師数

病院全体： 72 人

男性： 58 人

女性： 14 人

指導医数： 23 人

研修医数： 10 人

-1 年目： 5 人

-2 年目： 5 人

平均外来患者数	653 人/日
平均入院患者数	230 人/日
病床数	一般：347 床 療養：0 床
専門研修	なし
専攻医数	
基幹プログラム	
給与	355,754 円(1 年目) 372,573 円(2 年目)
賞与	1 年目 1.69 ヶ月 2 年目 2.60 ヶ月
当直回数	平均 6 回/月 (15,000 円/1 回)
諸手当	通勤・当直・時間外
保育施設の有無	有/院内

病院の概要・特色

当院は神奈川県中部の基幹的公立病院であり、疾患領域は多岐にわたり、偏ることがありません。このため、急性疾患から慢性疾患まで幅広い研修が可能です。夜間救急においても内科、外科、小児科、産婦人科が当直しているので、研修当直における急性疾患のプライマリ・ケアの豊富な経験が可能です。

また、2017年12月に新病院への建替えが完了しており、ハード面でも充実した研修環境が整えられています。

【プログラムの特徴】

- 急性疾患から慢性疾患まで広く研修することが可能です。
- ローテーション科に研修医が1人配置となることがほとんどであり、科ごとの手技をほぼ全て学ぶことができます。
- 関連大学病院が1つであるため、診療科の垣根を越えた指導体制が築けています。

病院から皆さんへ

研修医1年目の先生が、研修開始2か月後に後輩医学生に対して書いてくれた文章です。

厚木市立病院で研修医として働き始めて2か月が経過しました。4月は学生から社会人となり、周囲の環境の変化に慣れることに必死でした。最近になり少しずつできる仕事も増えてはきましたが、まだまだ勉強すべきことが多く、非常に充実した日々を過ごしています。これまで循環器内科を回らせていただき、現在は産婦人科で研修を行っていますがどちらの科も非常に充実した研修生活を送ることができています。

厚木市立病院での研修の魅力として第一に研修医ができる手技の多さが挙げられます。循環器内科では1年目の最初の時期から心エコーや心臓カテテル検査など専門性の高い手技を経験させていただきました。厚木市立病院は研修医が1学年5人と多くはないため、症例の取り合いなどもなく、回っている科の手技は望めば望むだけ経験できる環境にあります。このように、大学病院などに比して手技に対する垣根が低いことが厚木市立病院の魅力の一つです。

二つ目の魅力は研修医の指導体制です。厚木市立病院では大学病院での勤務経験がある先生も多く、どの科の先生も非常に教育熱心かつしっかりしたエビデンスのもと指導して下さるため、毎日充実した研修生活を送ることができます。また医師の数が大学病院ほど多くはないため、他科との垣根が低く気軽にコンサルテーションをかけた質問したりすることができます。さらに看護師さんやメディカルの方々も気軽に研修医の質問に答えてくださり、病院全体で研修医を育てようという雰囲気があります。

病院見学に行くこともなかなか難しい時期だとは思いますが、機会があれば是非厚木市立病院に来て雰囲気を感じていただけたらなと思います。そして研修医になったら手技がやりたい、雰囲気のいい病院で働きたい、市中病院で多くの症例を見ながら大学病院レベルの高度な医療を学びたいという方はぜひ一緒に働きましょう。皆さんとお会いできることを楽しみにお待ちしております。



研修医の 主な出身大学

新潟大学、東京女子医科大学、東邦大学、北里大学、聖マリアンナ医科大学、横浜市立大学、東海大学、山梨大学、愛知医科大学、岐阜大学、名古屋市立大学、産業医科大学、宮崎大学、大分大学

応募先

〒243-0433
神奈川県海老名市河原口 1320

アクセス 小田急線小田原線 相鉄本線・JR 相模線
「海老名駅」東口より徒歩 12 分

TEL 046-233-1311 **FAX** 046-232-8934

URL <https://job.jinai.jp/resident/>

医師数

病院全体：205人

常勤：129人

非常勤：76人

指導医数：38人

研修医数：15人

-1年目：8人

-2年目：7人

平均外来患者数	357.4人/日	
平均入院患者数	340.1人/日	
病床数	479床	
手術室	10室 ※うち日帰り手術室2室	
専門研修	有	
専攻医数	5人	
基幹プログラム	内科、外科、総合診療、麻酔科、救急科	
給与	375,000円(1年目) 425,000円(2年目)	賞与 なし
当直回数	4回/4週 1年目(15,000円/1回) 2年目(20,000円/1回)	
諸手当	住宅・当直・時間外	
保育施設の有無	有/院内保育園	

病院の概要・特色

海老名総合病院は、「救急こそが医療の原点」という法人創業者の理念を元に、2017年に神奈川県県央医療圏において唯一の救命救急センターを開設し、年間約8000件の救急車の受入を行っています。

救急医療のニーズが拡大する神奈川県県央地域において今まで以上に対応できる機能を整備するため、当院では現在、増改築工事を進めており、2023年5月に新棟オープンを予定しています。新棟は緊急性や重症度の高い急性期医療を担うため、進化を続ける医療機器を今後もスムーズに採用できる設計としています。救命救急センター・高度検査センターなど救急医療に必要な機能を集約し、より効率的な医療サービスの提供を目指していきます。

研修に関しては各科をローテートする研修医が1～2名ずつと少ないので、研修期間中に様々な症例や手技を経験することが出来ます。また、指導医の出身大学も様々で、診療科間の垣根も低く、病院全体の雰囲気の良いのも特徴です。

【プログラムの特徴】

2年間のスーパーローテート方式を原則とし、プライマリ・ケア能力にすぐれた医師の養成を図る。入職後、1週間のオリエンテーション(基本的診察法、リスクマネジメントなどを含む)を行う。1年次の最初の2カ月は内科研修とし、指導医のもとで臨床医として最低限必要な知識、技術、態度などを研修する。

研修は、基本的に海老名総合病院で行い、1年次は内科26w、外科8w、救急12w(麻酔科含む)、小児科4w、産婦人科4w、精神科4wを基本必修科目とする。

2年次には地域医療(近隣診療所など)6wを履修、残りの期間は各研修医の自由選択とする。

病院から皆さんへ：研修医の声

大き過ぎず、小さ過ぎない中規模の市中病院で、500床前後、研修医10人前後を条件に、病院を探しました。その中で実際に見学時に、研修医同士の仲が良く、生き生きと研修をしている姿を見て、この病院を選びました。

病院として最も特徴的な点は、救急外来の当直です。当院は、神奈川県県央地域唯一の救命救急センターであり、多岐にわたる疾患を救急外来で診ることができます。当直には、救急科の医師が1人は常駐しているため、分からないことがあれば聞くことができ、安心して当直ができる環境です。研修医がファーストタッチをするので、臨床能力も身に付きやすいです。心臓血管外科や脳神経外科、血液内科や腎臓内科があり、幅広い症例を見ることが出来るため、専攻医にもつながる初期研修が可能だと思えます。

「多くの手技を経験したい」と思う方は、是非一度、当院へ見学にいらしてください。

57 小田原市立病院



研修医の主な出身大学

横浜市立大学、北里大学、筑波大学、富山大学、信州大学、山形大学、昭和大学、日本医科大学、大阪医科大学など

応募先

〒250-8558 神奈川県小田原市久野 46 番地

アクセス 小田原駅徒歩 20 分
大雄山線井細田駅徒歩 10 分
小田急線足柄駅徒歩 10 分

TEL 0465-34-3175 **FAX** 0465-34-3179

URL <http://www.city.odawara.kanagawa.jp/hospital/>

医師数

病院全体：105 人

男性：73 人

女性：32 人

指導医数：38 人

研修医数：21 人

-1 年目：11 人

-2 年目：10 人

平均外来患者数	883 人/日	
平均入院患者数	338 人/日	
病床数	一般：417 床 療養：0 床	
専門研修	なし	
専攻医数		
基幹プログラム		
給与	令和 5 年度予定 約 550 万円(1 年目) 約 586 万円(2 年目)	賞与 2 回/年
当直回数	平均 4~5 回/月 1 年目(10,000 円/1 回) 2 年目(15,000 円/1 回)	
諸手当	当直・時間外	
保育施設の有無	有	

病院の概要・特色

市民の健康保持に必要な医療を提供することを目的に昭和 33 年に開設し、昭和 59 年に全面改築工事を行い、現在、診療科 26 科、一般病床 417 床となっています。災害拠点病院、地域周産期母子医療センター、地域がん診療連携拠点病院、救命救急センター、地域医療支援病院、DMAT 指定病院の指定を受け、神奈川県西地域の基幹病院として急性期医療や救急医療において中核的な役割を果たしています。

また、「断らない救急」に努めており、令和 2 年 4 月に、救命救急センターを 8 床増床し、計 20 床となり救急機能を拡充し、高度な医療の提供を行っています。令和 2 年 11 月には、呼吸移動対策と画像誘導放射線治療を導入し、地域の基幹病院としての役割を一層高めています。

【プログラムの特徴】

人気が高いのは、救急外来の研修です。1 年目の研修では上級医と一緒に救急車で搬送される患者さんの対応を行います。2 年目の研修では、それ以外の外来対応が主となり患者さんから直接問診をとることで一般外来でのスキルも身につくようになります。地域の病院でありながら 1 次から 3 次まで幅広い救急医療の提供を行っており、臨床経験を積むにあたっては最良の研修場所となります。また、2 年間で選択期間は 40 週間確保しており希望に応じた自由度の高いローテーションを組むことができます。さらに、質問や相談がしやすい環境の提供を心がけており、生涯にわたって活躍できる臨床医を育てることに力を注いでいます。

病院から皆さんへ：研修医の声

病床数が 400 床ほどあり、研修を行う上では規模の大きな病院に属すると思います。1 次から 3 次救急に対応しているため、common disease から高度な疾患まで多くの症例を経験ができます。

研修医の数も 1 学年 10 人前後で、症例や手技の取り合いにもならず、適度に多く経験することができます。また研修医棟と医局は別棟ですが、上級医にコンサルトしやすく、分からないことがあればすぐに相談できる環境が整っています。働き出して 7 か月近くになりますが、その雰囲気の良いさを毎日実感しています。また、忙しすぎるということもなく、時間が作れるので、自分の勉強ができます。看護師、コメディカルの方や事務の方もとても優しく親切で配慮があり研修がしやすいです。興味がありましたら、是非見学に来てみてください。お待ちしております！



応募先

〒258-0003

神奈川県足柄上郡松田町松田惣領 866-1

アクセス 小田急線新松田駅 徒歩 5分

TEL 0465-83-0351 FAX 0465-82-5377

URL <http://ashigarakami.kanagawa-pho.jp/>

医師数

病院全体： 43人

男性： 39人

女性： 4人

指導医数： 18人

研修医数： 12人

-1年目： 6人

-2年目： 6人



研修医の主な出身大学

横浜市立大学、自治医科大学、富山大学他

平均外来患者数	464人/日		
平均入院患者数	207人/日		令和元年度
病床数	一般：290床		感染：6床
専門研修	有		
専攻医数	4人		
基幹プログラム	内科、総合診療科		
給与	1年目 39万円	2年目 40万円	賞与 2回/年
当直回数	平均 4回/月 (20,000円/1回)		
諸手当	通勤・当直・時間外		
保育施設の有無	有/院外		

病院の概要・特色

当院は神奈川県西医療圏に属する地域中核病院であり、内科系疾患は臓器に偏ることなく満遍なく診療できることを理想とし、日々研鑽しています。また職員同士のコミュニケーションが取りやすく、指導医も身近にあり、各科コンサルテーション等もしやすい環境です。

初期研修医にとってまず必要なCommon Diseaseの診断治療に関しては、大学病院等の高度専門病院よりも豊富に経験でき、基本手技の実践に関してもより多数例を実践可能です。特に内科が総合診療科を標榜しており、臓器にこだわらない診療を行っており、マニュアルによる医療ではなく、診断推論の基礎から指導しています。

さらに、2年次には研修医の希望に応じて県立病院群での高度専門医療の研修も可能です。

病院から皆さんへ：研修医の声

【研修医】

先生方がたくさんのことを教えてください、自分のやる気次第で手技もいろいろやらせてもらえることです。

また、当直時は、患者さんのファーストタッチは研修医が担当します。必ず上級医がそばに付いてくださり、適宜指導していただくので安心して診療にあたることができます。フィードバックも丁寧にしていただけて実践したことが身になっていくことが実感できます。

【プログラムの特徴】

1年次は必修科のローテーションを行い、2年次は沖縄宮古島徳洲会病院での地域医療研修の他、選択で神奈川県立病院群の各専門病院での研修も可能である。

- ①足柄上病院でcommon disease、common symptomを経験すると共に、選択科目で、専門性の高い医療を県立の専門病院で経験することもできます。
- ②医療面接と身体検査から診断する能力(心構え)を身につけることを研修の主眼におきます。
- ③医療に携わる多くの職種の人たちから研修指導を受けます。
- ④救急診療を中心に外来の初期診療を多く経験します。

【研修医】

大きな病院ではないので、指導医と研修医が近いこと。看護職や他の職種の職員の方にもすぐに名前と顔を覚えてもらえ、スムーズに研修がスタートできて良かったなと思っています。患者さんは高齢の患者さんが多く、認知症の方も少なくないので、コミュニケーションがとり辛いこともあり現場の難しさを実感します。ただ、こうした場面を研修として多く経験することは今後大きく役立つと思っています。